

# 令和3年度奄美市幸福度調査アンケート

## — 調査結果報告書 —

令和3年 11月

奄美市

# < 目 次 >

## I 調査概要

1. 調査目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	1
4. 調査期間	1
5. 回収状況	1
6. 調査項目	2

## II 調査結果

1. 回答者の属性	3
2. 集計結果	4
(1) 奄美幸福度の10の指標に対する実感	4
1) 全体の集計結果	4
2) 個別指標の集計結果	10
(2) 日々の生活で「幸せ」・「満足」、「不幸」・「不満」に感じる事	20
1) 日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じる事	20
2) 日々の生活で「不幸」または「不満」に感じる事	33

## 参考資料

1. 属性別の経年比較	47
2. アンケート調査票	57

# I. 調査概要

本調査の実施概要は以下のとおりとなっている。

## 1. 調査目的

○奄美市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく事業の実施によって、奄美市が「しあわせの島」に近づいているか、市民を対象としたアンケート調査を実施し、奄美幸福度指数（AHI：Amami Happiness Index）を算出、その達成度を把握することを目的とする。

## 2. 調査対象

○15歳以上の市民2,000人とし、性別・年代別・居住地区別の対象者数は以下のとおり。

### 【性別・年代別・居住地区別対象者数】

居住地 年代	名瀬			住用			笠利			合計	
	男性	女性		男性	女性		男性	女性		構成比	
15～19歳	92	47	45	25	15	10	30	15	15	147	7.4%
20歳代	129	65	64	30	15	15	30	15	15	189	9.5%
30歳代	210	103	107	30	15	15	30	15	15	270	13.5%
40歳代	221	111	110	30	15	15	31	15	16	282	14.1%
50歳代	225	113	112	30	15	15	40	20	20	295	14.8%
60歳代	243	120	123	30	15	15	60	32	28	333	16.7%
70歳代	201	94	107	30	15	15	41	19	22	272	13.6%
80歳以上	145	52	93	30	15	15	37	13	24	212	10.6%
合計	1,466	705	761	235	120	115	299	144	155	2,000	100.0%

※構成比は四捨五入をしているため、各年代の和と合計は一致しない。

## 3. 調査方法

○郵送配布、郵送回収。

## 4. 調査期間

○令和3年10月1日（金）～10月25日（月）

## 5. 回収状況

○有効回答数：741件（回収率：37.1%）

## 6. 調査項目

○調査項目については、以下のとおり。

### 【調査項目】

問1 奄美幸福度の10の指標に対する実感

- ①あなたは日常生活に対して満足していますか？  
(生活の満足度)
- ②あなたは将来に希望を持っていますか？  
(将来への希望度)
- ③あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？  
(結い度)
- ④あなたは奄美が好きですか？  
(愛着度)
- ⑤奄美は、子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？  
(教育環境の満足度)
- ⑥奄美は、医療機関や福祉が充実していると思いますか？  
(医療・福祉環境の満足度)
- ⑦あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだと思いますか？  
(地産地消度)
- ⑧あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？  
(招待意向度)
- ⑨あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？  
(おもてなし意向度)
- ⑩あなたは奄美に今後も住み続けたいですか？  
(永住希望度)

問2 日々の生活で「幸せ」または「満足」、「不幸」または「不満」に感じること

- ・日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じること (記述式)
- ・日々の生活で「不幸」または「不満」に感じること (記述式)

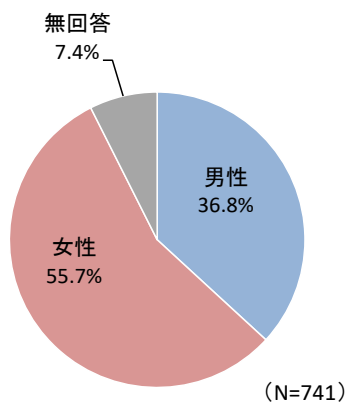
※回答者の属性 (性別、年代、居住地区)

## Ⅱ. 調査結果

### 1. 回答者の属性

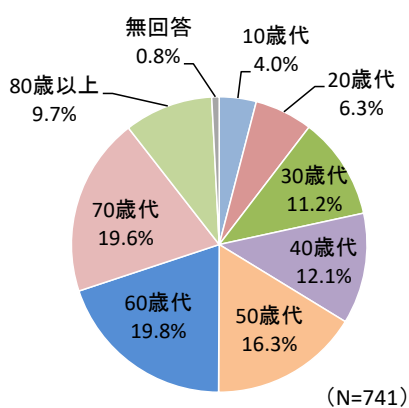
回答者 741 人の属性は、以下のとおりとなっている。

【性別 N=741】



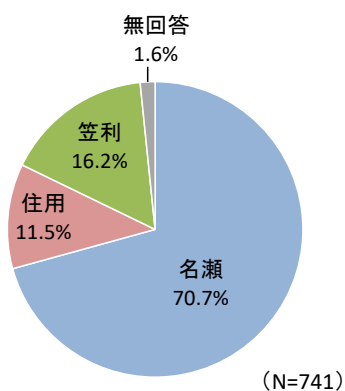
カテゴリ	件数	構成比
男性	273	36.8%
女性	413	55.7%
無回答	55	7.4%
合計	741	100.0%

【年代別 N=741】



カテゴリ	件数	構成比
10歳代	30	4.0%
20歳代	47	6.3%
30歳代	83	11.2%
40歳代	90	12.1%
50歳代	121	16.3%
60歳代	147	19.8%
70歳代	145	19.6%
80歳以上	72	9.7%
無回答	6	0.8%
合計	741	100.0%

【居住地区別 N=741】



カテゴリ	件数	構成比
名瀬	524	70.7%
住用	85	11.5%
笠利	120	16.2%
無回答	12	1.6%
合計	741	100.0%

## 2. 集計結果

### (1) 奄美幸福度の10の指標に対する実感

#### 1) 全体の集計結果

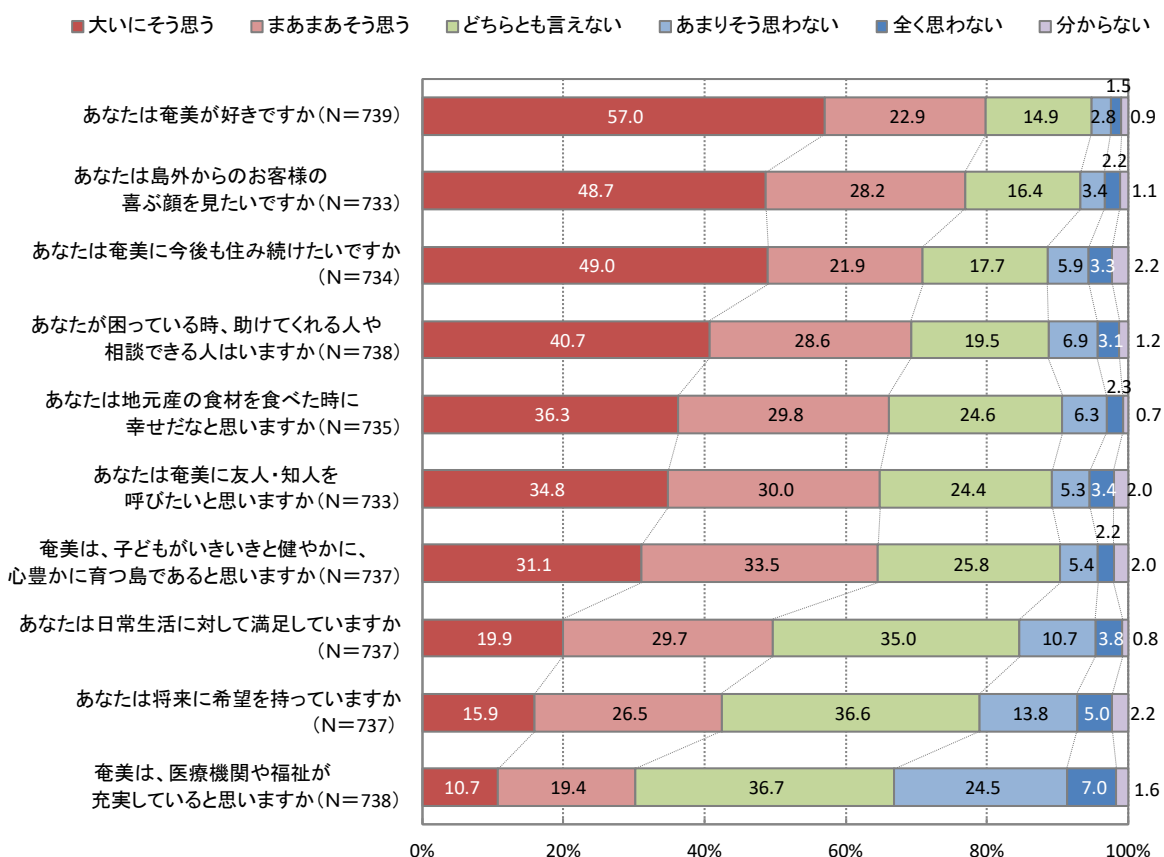
##### ① 10の指標に対する実感

10の指標に対する実感について、『そう思う』（「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」の合計、以下も同様）では「愛着度」（あなたは奄美が好きですか？）が79.9%で約8割を占め最も高く、次いで「おもてなし意向度」（あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？）、「永住希望度」（あなたは奄美に今後も住み続けたいですか？）などとなっている。なお、「愛着度」は唯一「大いにそう思う」が半数を超え、『そう思わない』（「あまりそう思わない」と「全く思わない」の合計、以下も同様）も5%未満となっている。

一方、「医療・福祉環境の満足度」（奄美は、医療機関や福祉が充実していると思いますか？）、「将来への希望度」（あなたは将来に希望を持っていますか？）、「生活の満足度」（あなたは日常生活に対して満足していますか？）の3つの指標は、『そう思う』が半数を下回り、『そう思わない』が1割を超えている。なお、「医療・福祉環境の満足度」は唯一『そう思わない』が『そう思う』の回答割合を上回っている。

10の指標の経年比較をみると、「おもてなし意向度」が低下傾向にある一方で、「招待意向度」は前回調査に比べて『そう思う』が7.1%ポイント上昇し、『そう思わない』が6.5%ポイント低下している。その他の指標についてはほぼ横ばいとなっている。

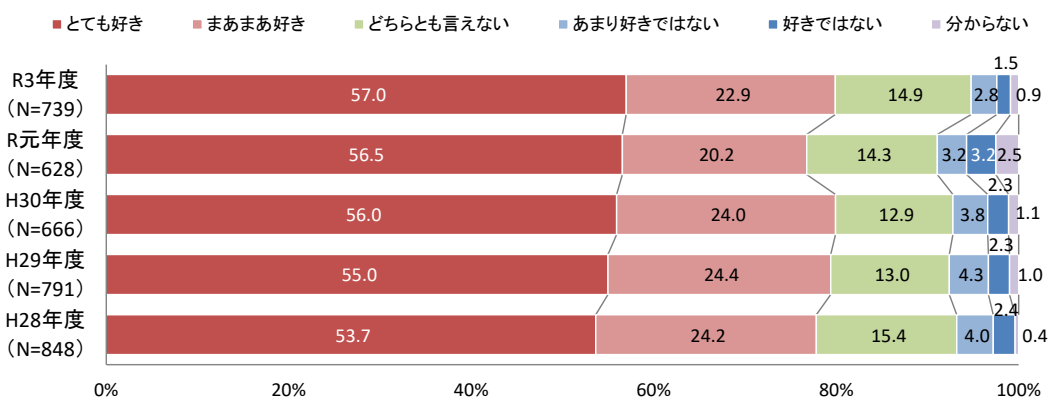
#### 【10の指標に対する実感】



※無回答を除く

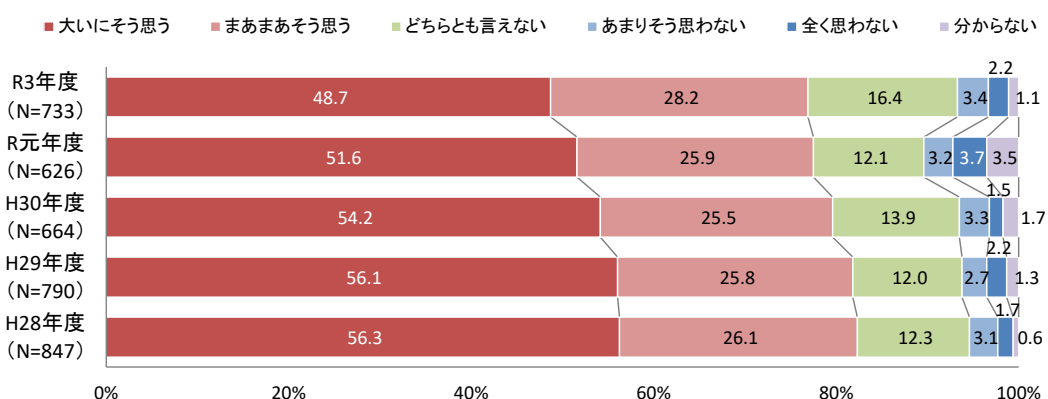
<参考：10の指標の経年比較>

○あなたは奄美が好きですか？（愛着度）

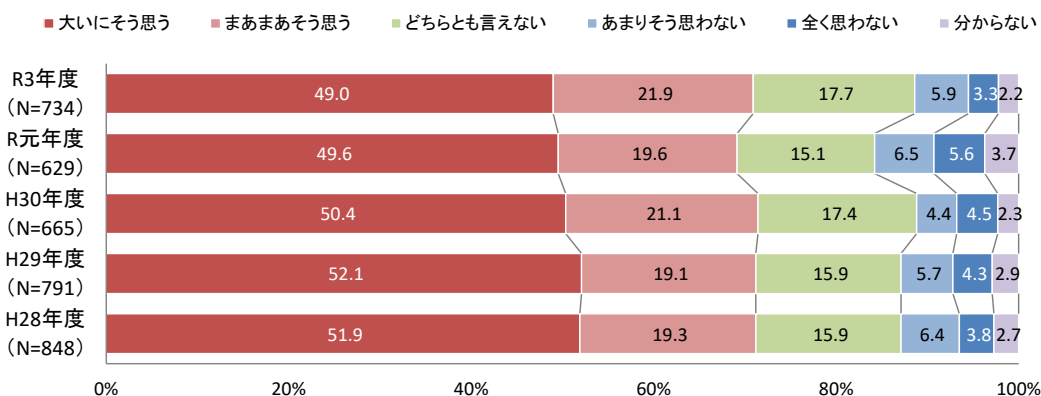


※無回答を除く、以下同様。

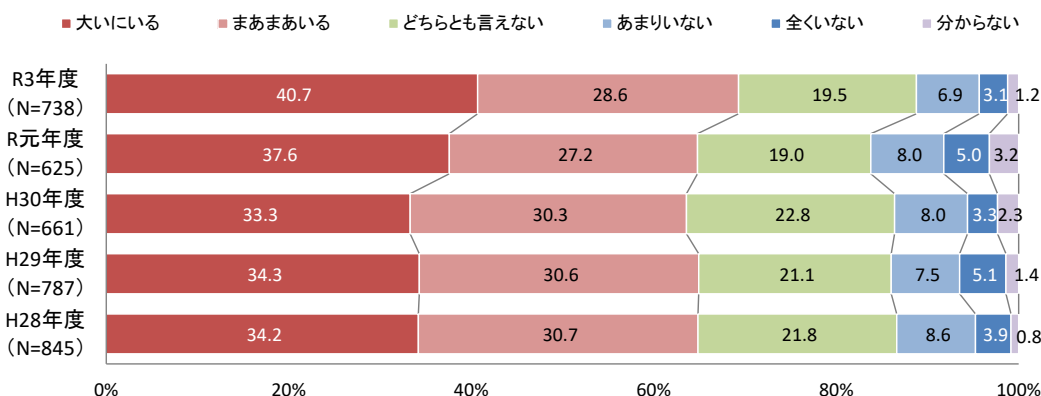
○あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？（おもてなし意向度）



○あなたは奄美に今後も住み続けたいですか？（永住希望度）

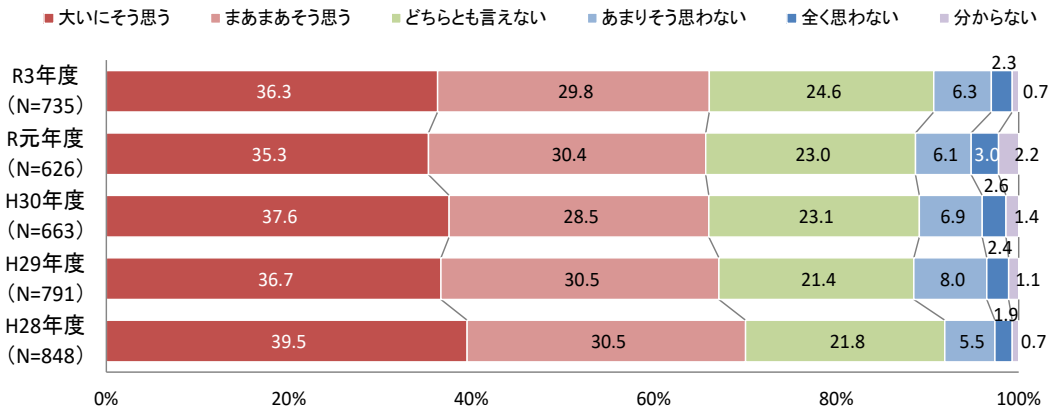


○あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？（結い度）

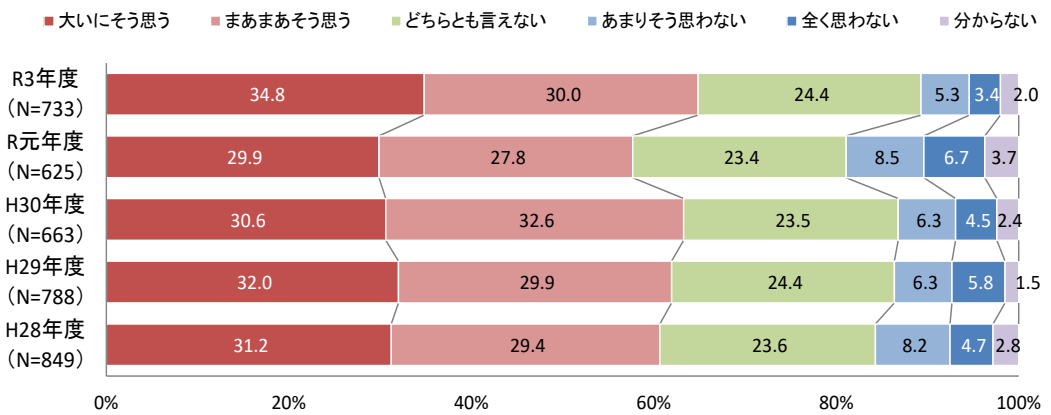


<参考：10の指標の経年比較（続き）>

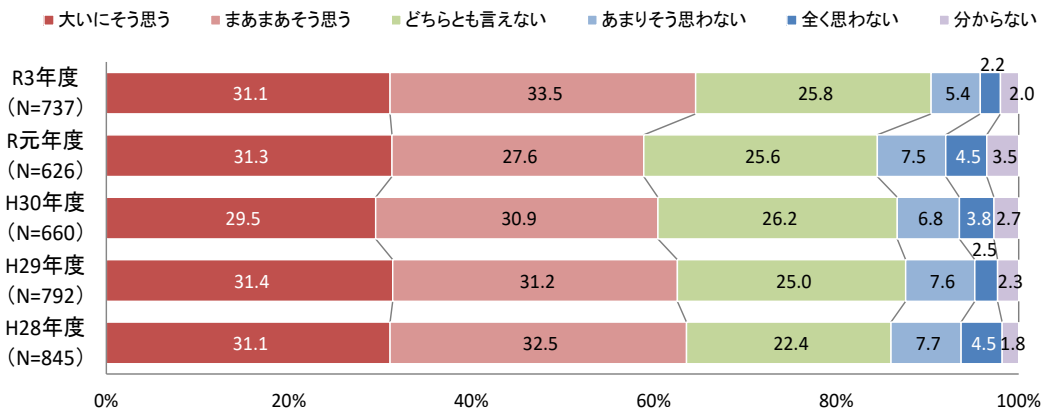
○あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだと思えますか？（地産地消費度）



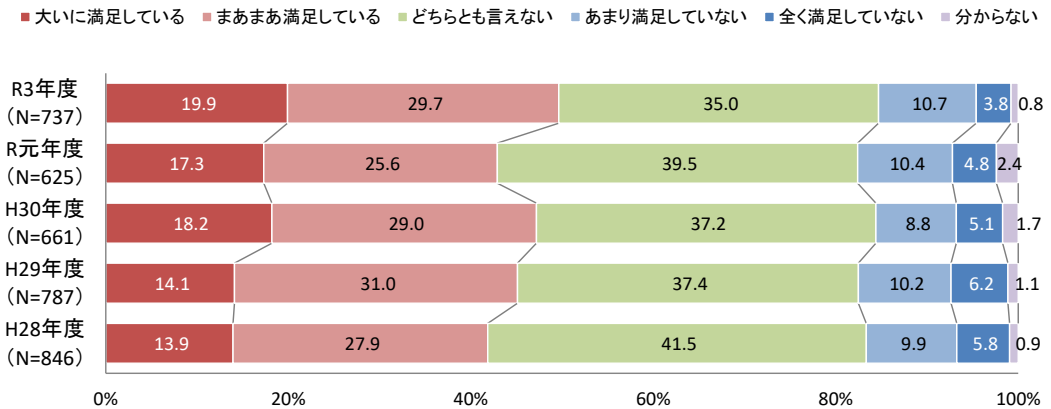
○あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思えますか？（招待意向度）



○奄美は、子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思えますか？（教育環境の満足度）



○あなたは日常生活に対して満足していますか？（生活の満足度）

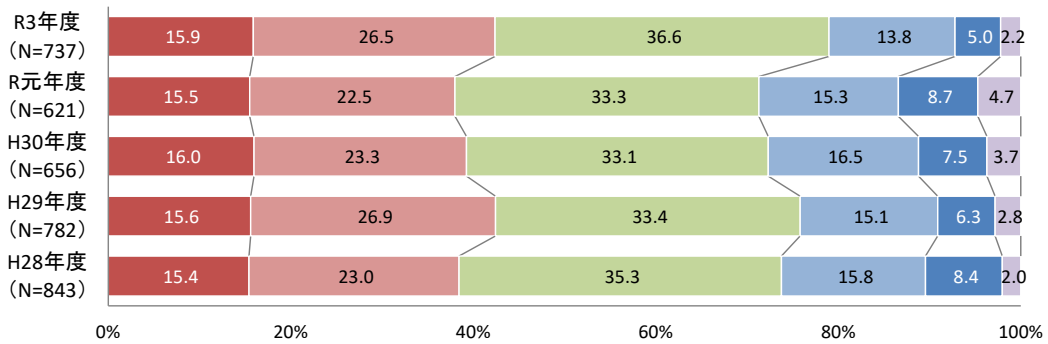




<参考：10の指標の経年比較（続き）>

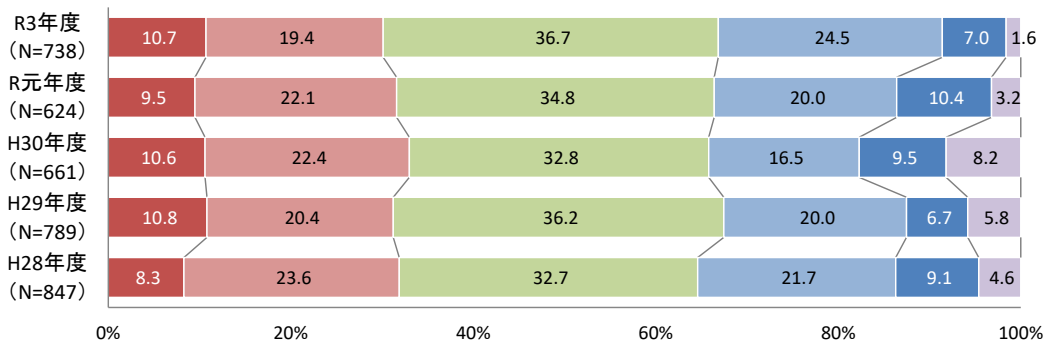
○あなたは将来に希望を持っていますか？（将来への希望度）

■ 大いに希望を持っている ■ まあまあ希望を持っている ■ どちらとも言えない ■ あまり希望を持っていない ■ 全く希望を持っていない ■ 分からない



○奄美は、医療機関や福祉が充実していると思いますか？（医療・福祉環境の満足度）

■ 大いにそう思う ■ まあまあそう思う ■ どちらとも言えない ■ あまりそう思わない ■ 全く思わない ■ 分からない



## ② 奄美幸福度指数

### a. 奄美幸福度 DI

奄美幸福度 DI (Diffusion Index=各単純集計結果の「分からない」及び無回答を除いた回答数を求めた上で、『そう思う』の割合から、『そう思わない』の割合を引いて指数化したもの) については、以下のとおりとなっている。

「医療・福祉環境の満足度」(−2%ポイント) 以外の指標では全てプラスとなっており、特に「愛着度」と「おもてなし意向度」はそれぞれ+76%ポイント、+72%ポイントで他の指標に比べて高くなっている。

#### 【奄美幸福度 DI】

単位：%

	『そう思う』			どちらとも言えない	『そう思わない』			奄美幸福度DI (A-B)
	A	大いに そう思う	まあまあ そう思う		B	あまり そう思わない	全く 思わない	
生活の満足度	50	20	30	35	15	11	4	+ 35
将来への希望度	43	16	27	37	19	14	5	+ 24
結い度	70	41	29	20	10	7	3	+ 60
愛着度	81	58	23	15	4	3	2	+ 76
教育環境の満足度	66	32	34	26	8	6	2	+ 58
医療・福祉環境の満足度	31	11	20	37	32	25	7	-2
地産地消度	67	37	30	25	9	6	2	+ 58
招待意向度	66	36	31	25	9	5	3	+ 57
おもてなし意向度	78	49	29	17	6	3	2	+ 72
永住希望度	73	50	22	18	9	6	3	+ 63

※「分からない」及び無回答を除く回答割合

なお、過去の調査結果と比較してみると、「愛着度」と「おもてなし意向度」は一貫して+70%ポイント以上、「生活の満足度」、「将来への希望度」、「結い度」、「教育環境の満足度」、「招待意向度」は前回調査に比べて6%ポイント以上上昇し、過去最高値となっている。「地産地消度」と「永住希望度」はほぼ横ばい、「医療・福祉環境の満足度」は他に比べて極端に低い水準のままとなっている。

#### 【奄美幸福度 DI の経年比較】

単位：%ポイント

	奄美幸福度DI									
	H28年度		H29年度		H30年度		R元年度		R3年度	
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
生活の満足度	+ 26	↑ 3	+ 29	↑ 5	+ 34	↓ -5	+ 28	↑ 7	+ 35	
将来への希望度	+ 15	↑ 7	+ 22	↓ -6	+ 16	↓ -1	+ 15	↑ 9	+ 24	
結い度	+ 53	0	+ 53	0	+ 53	0	+ 54	↑ 6	+ 60	
愛着度	+ 72	↑ 2	+ 74	↑ 1	+ 75	↓ -3	+ 72	↑ 4	+ 76	
教育環境の満足度	+ 52	↑ 2	+ 54	↓ -3	+ 51	↓ -3	+ 49	↑ 9	+ 58	
医療・福祉環境の満足度	+ 1	↑ 4	+ 5	↑ 3	+ 8	↓ -6	+ 1	↓ -3	-2	
地産地消度	+ 63	↓ -6	+ 57	0	+ 57	↑ 1	+ 58	0	+ 58	
招待意向度	+ 49	↑ 2	+ 51	↑ 3	+ 54	↓ -9	+ 44	↑ 13	+ 57	
おもてなし意向度	+ 78	0	+ 78	↓ -2	+ 76	↓ -3	+ 73	↓ -1	+ 72	
永住希望度	+ 63	0	+ 63	↑ 1	+ 64	↓ -5	+ 59	↑ 4	+ 63	

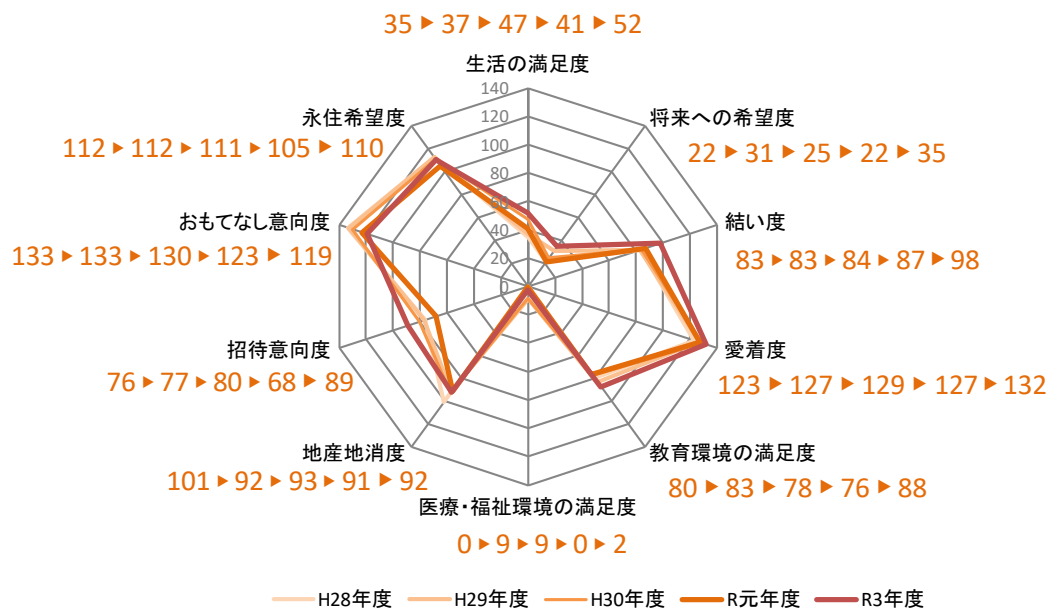
## b. レーダーチャート

10の指標の各回答結果の「分からない」及び無回答を除いた回答総数と割合を求めた上で、それぞれの割合に、「大いにそう思う」は+2点、「まあまあそう思う」は+1点、「どちらとも言えない」は0点、「あまりそう思わない」は-1点、「全く思わない」は-2点を掛け合わせて点数化し、レーダーチャートで示すと下図のとおりとなっている。

最高点200点、最低点-200点のうち、今回調査（令和3年度）では「愛着度」が132点と最も高い得点で、次いで「おもてなし意向度」が119点、「永住希望度」が110点等となっている。

なお、前回調査から5点以上高くなっている指標を高い順にみると、「招待意向度」（+21点）、「将来への希望度」（+13点）、「教育環境の満足度」（+12点）、「生活の満足度」と「結い度」（+11点）、「愛着度」と「永住希望度」（+5点）となっており、10指標中7指標が5点以上高くなっている。

### 【奄美幸福度のレーダーチャート】



## 2) 個別指標の集計結果

### ① 生活の満足度（あなたは日常生活に対して満足していますか？）

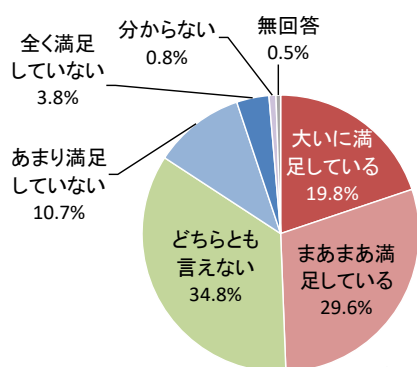
生活の満足度については、「どちらとも言えない」が34.8%で最も多く、次いで「まあまあ満足している」(29.6%)の順となっており、『満足している』（「大いに満足している」と「まあまあ満足している」の合計）は49.4%と約半数となっている。

これを性別にみると、男女とも「どちらとも言えない」が最も多く、全体とほぼ同様の傾向にある。

年代別にみると、10歳代では「大いに満足している」と「まあまあ満足している」、50歳代では「まあまあ満足している」、それ以外の年代では「どちらとも言えない」がそれぞれ最も多くなっている。

居住地区別にみると、どの地区においても「どちらとも言えない」が最も多く、全体とほぼ同様の傾向にある。

#### 【生活の満足度 N=741】



(N=741)

		大いに満足している	まあまあ満足している	どちらとも言えない	あまり満足していない	全く満足していない	分からない	無回答
性別	男性(N=273)	51 18.7%	80 29.3%	91 33.3%	36 13.2%	14 5.1%	1 0.4%	- 0.0%
	女性(N=413)	81 19.6%	127 30.8%	151 36.6%	37 9.0%	9 2.2%	5 1.2%	3 0.7%
年代別	10歳代(N=30)	10 33.3%	10 33.3%	8 26.7%	2 6.7%	- 0.0%	- 0.0%	- 0.0%
	20歳代(N=47)	10 21.3%	12 25.5%	15 31.9%	6 12.8%	2 4.3%	2 4.3%	- 0.0%
	30歳代(N=83)	11 13.3%	26 31.3%	28 33.7%	13 15.7%	5 6.0%	- 0.0%	- 0.0%
	40歳代(N=90)	18 20.0%	26 28.9%	32 35.6%	10 11.1%	3 3.3%	1 1.1%	- 0.0%
	50歳代(N=121)	22 18.2%	41 33.9%	39 32.2%	12 9.9%	5 4.1%	2 1.7%	- 0.0%
	60歳代(N=147)	22 15.0%	45 30.6%	65 44.2%	12 8.2%	3 2.0%	- 0.0%	- 0.0%
	70歳代(N=145)	34 23.4%	40 27.6%	47 32.4%	17 11.7%	5 3.4%	- 0.0%	2 1.4%
	80歳以上(N=72)	17 23.6%	19 26.4%	23 31.9%	5 6.9%	5 6.9%	1 1.4%	2 2.8%
居住地区別	名瀬(N=524)	94 17.9%	160 30.5%	189 36.1%	59 11.3%	17 3.2%	3 0.6%	2 0.4%
	住用(N=85)	20 23.5%	26 30.6%	30 35.3%	4 4.7%	4 4.7%	1 1.2%	- 0.0%
	笠利(N=120)	28 23.3%	31 25.8%	37 30.8%	14 11.7%	6 5.0%	2 1.7%	2 1.7%

## ② 将来への希望度（あなたは将来に希望を持っていますか？）

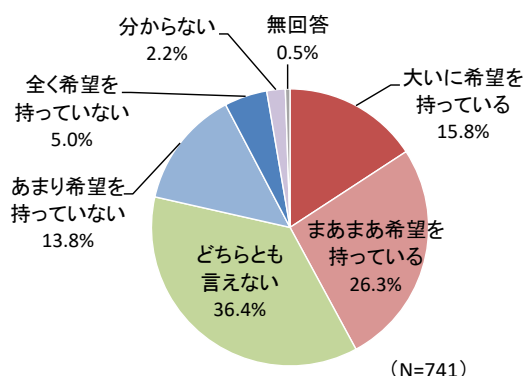
将来への希望度については、「どちらとも言えない」が36.4%で最も多く、次いで「まあまあ希望を持っている」（26.3%）の順となっており、『希望を持っている』（「大いに希望を持っている」と「まあまあ希望を持っている」の合計）は42.1%となっている。

これを性別にみると、男女とも「どちらとも言えない」が最も多く、全体とほぼ同様の傾向にある。

年代別にみると、10歳代では「大いに希望を持っている」、30歳代と80歳以上では「まあまあ希望を持っている」、それ以外の年代では「どちらとも言えない」がそれぞれ最も多くなっている。

居住地区別にみると、どの地区においても「どちらとも言えない」が最も多く、全体とほぼ同様の傾向にある。

### 【将来への希望度 N=741】



		大いに希望を持っている	まあまあ希望を持っている	どちらとも言えない	あまり希望を持っていない	全く希望を持っていない	分からない	無回答
性別	男性 (N=273)	38 13.9%	68 24.9%	107 39.2%	42 15.4%	16 5.9%	2 0.7%	- 0.0%
	女性 (N=413)	65 15.7%	116 28.1%	142 34.4%	55 13.3%	17 4.1%	14 3.4%	4 1.0%
年代別	10歳代 (N=30)	12 40.0%	10 33.3%	7 23.3%	1 3.3%	- 0.0%	- 0.0%	- 0.0%
	20歳代 (N=47)	11 23.4%	11 23.4%	17 36.2%	3 6.4%	3 6.4%	2 4.3%	- 0.0%
	30歳代 (N=83)	8 9.6%	31 37.3%	27 32.5%	10 12.0%	6 7.2%	1 1.2%	- 0.0%
	40歳代 (N=90)	17 18.9%	20 22.2%	35 38.9%	13 14.4%	3 3.3%	1 1.1%	1 1.1%
	50歳代 (N=121)	12 9.9%	31 25.6%	42 34.7%	24 19.8%	9 7.4%	3 2.5%	- 0.0%
	60歳代 (N=147)	21 14.3%	34 23.1%	58 39.5%	29 19.7%	3 2.0%	2 1.4%	- 0.0%
	70歳代 (N=145)	27 18.6%	32 22.1%	57 39.3%	14 9.7%	9 6.2%	6 4.1%	- 0.0%
	80歳以上 (N=72)	7 9.7%	25 34.7%	24 33.3%	8 11.1%	4 5.6%	1 1.4%	3 4.2%
居住地区別	名瀬 (N=524)	80 15.3%	136 26.0%	187 35.7%	82 15.6%	26 5.0%	11 2.1%	2 0.4%
	住用 (N=85)	13 15.3%	23 27.1%	38 44.7%	6 7.1%	3 3.5%	1 1.2%	1 1.2%
	笠利 (N=120)	21 17.5%	35 29.2%	38 31.7%	14 11.7%	7 5.8%	4 3.3%	1 0.8%

### ③ 結い度（あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？）

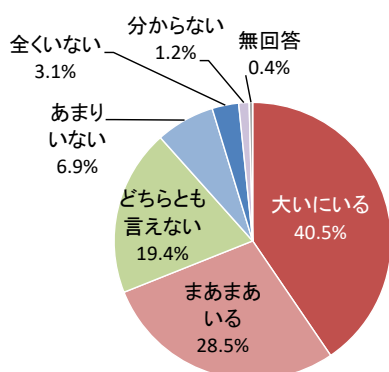
結い度については、「大いにいる」が40.5%で最も多く、次いで「まあまあいる」（28.5%）の順となっており、『いる』（「大いにいる」と「まあまあいる」の合計）は69.0%と約7割を占めている。

これを性別にみると、男女とも「大いにいる」が最も多く、全体とほぼ同様の傾向にある。

年代別にみると、50歳代では「まあまあいる」、それ以外の年代では「大いにいる」がそれぞれ最も多くなっている。

居住地区別にみると、どの地区においても「大いにいる」が最も多く、全体とほぼ同様の傾向にある。

【結い度 N=741】



(N=741)

		大いにいる	まあまあいる	どちらとも言えない	あまりいない	全くない	分からない	無回答
性別	男性(N=273)	95 34.8%	85 31.1%	66 24.2%	14 5.1%	10 3.7%	3 1.1%	- 0.0%
	女性(N=413)	183 44.3%	114 27.6%	69 16.7%	30 7.3%	9 2.2%	5 1.2%	3 0.7%
年代別	10歳代(N=30)	18 60.0%	10 33.3%	2 6.7%	- 0.0%	- 0.0%	- 0.0%	- 0.0%
	20歳代(N=47)	26 55.3%	10 21.3%	8 17.0%	2 4.3%	- 0.0%	1 2.1%	- 0.0%
	30歳代(N=83)	29 34.9%	23 27.7%	19 22.9%	9 10.8%	3 3.6%	- 0.0%	- 0.0%
	40歳代(N=90)	36 40.0%	26 28.9%	17 18.9%	10 11.1%	- 0.0%	1 1.1%	- 0.0%
	50歳代(N=121)	36 29.8%	44 36.4%	26 21.5%	9 7.4%	3 2.5%	2 1.7%	1 0.8%
	60歳代(N=147)	60 40.8%	45 30.6%	29 19.7%	10 6.8%	2 1.4%	1 0.7%	- 0.0%
	70歳代(N=145)	64 44.1%	34 23.4%	24 16.6%	9 6.2%	10 6.9%	4 2.8%	- 0.0%
	80歳以上(N=72)	29 40.3%	18 25.0%	17 23.6%	2 2.8%	4 5.6%	- 0.0%	2 2.8%
居住地区別	名瀬(N=524)	217 41.4%	147 28.1%	97 18.5%	42 8.0%	14 2.7%	6 1.1%	1 0.2%
	住用(N=85)	35 41.2%	22 25.9%	19 22.4%	4 4.7%	3 3.5%	2 2.4%	- 0.0%
	笠利(N=120)	46 38.3%	37 30.8%	25 20.8%	5 4.2%	4 3.3%	1 0.8%	2 1.7%

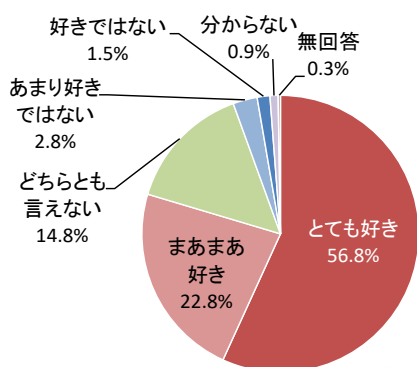
#### ④ 愛着度（あなたは奄美が好きですか？）

愛着度については、「とても好き」が56.8%で最も多く、次いで「まあまあ好き」（22.8%）の順となっており、『好き』（「とても好き」と「まあまあ好き」の合計）は79.6%と約8割を占めている。

これを性別にみると、男女とも「とても好き」が最も多く、全体とほぼ同様の傾向にある。

年代別、居住地区別にみると、どの年代、どの地区においても「とても好き」がそれぞれ最も多くなっており、全体とほぼ同様の傾向にある。

【愛着度 N=741】



(N=741)

		とても好き	まあまあ好き	どちらとも言えない	あまり好きではない	好きではない	分からない	無回答
性別	男性(N=273)	152 55.7%	57 20.9%	51 18.7%	7 2.6%	4 1.5%	2 0.7%	- 0.0%
	女性(N=413)	231 55.9%	102 24.7%	56 13.6%	13 3.1%	4 1.0%	5 1.2%	2 0.5%
年代別	10歳代(N=30)	15 50.0%	6 20.0%	7 23.3%	1 3.3%	- 0.0%	1 3.3%	- 0.0%
	20歳代(N=47)	26 55.3%	11 23.4%	7 14.9%	2 4.3%	1 2.1%	- 0.0%	- 0.0%
	30歳代(N=83)	35 42.2%	22 26.5%	21 25.3%	4 4.8%	1 1.2%	- 0.0%	- 0.0%
	40歳代(N=90)	53 58.9%	24 26.7%	8 8.9%	4 4.4%	1 1.1%	- 0.0%	- 0.0%
	50歳代(N=121)	61 50.4%	29 24.0%	23 19.0%	5 4.1%	- 0.0%	3 2.5%	- 0.0%
	60歳代(N=147)	84 57.1%	35 23.8%	22 15.0%	2 1.4%	1 0.7%	3 2.0%	- 0.0%
	70歳代(N=145)	97 66.9%	26 17.9%	16 11.0%	2 1.4%	3 2.1%	- 0.0%	1 0.7%
	80歳以上(N=72)	45 62.5%	15 20.8%	6 8.3%	1 1.4%	4 5.6%	- 0.0%	1 1.4%
居住地区別	名瀬(N=524)	298 56.9%	119 22.7%	80 15.3%	14 2.7%	7 1.3%	6 1.1%	- 0.0%
	住用(N=85)	47 55.3%	20 23.5%	12 14.1%	2 2.4%	2 2.4%	1 1.2%	1 1.2%
	笠利(N=120)	68 56.7%	27 22.5%	18 15.0%	5 4.2%	1 0.8%	- 0.0%	1 0.8%

⑤ 教育環境の満足度（奄美は、子どもがいそいそと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？）

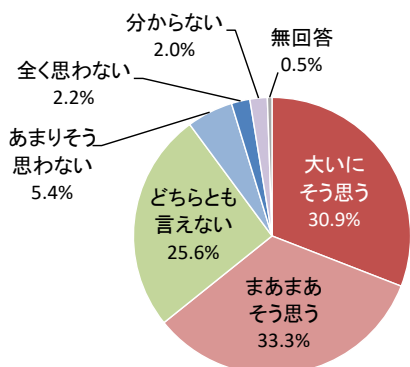
教育環境の満足度については、「まあまあそう思う」が33.3%で最も多く、次いで「大いにそう思う」(30.9%)の順となっており、『そう思う』（「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」の合計）は64.2%となっている。

これを性別にみると、男女とも「まあまあそう思う」が最も多く、全体とほぼ同様の傾向にある。

年代別にみると、20歳代以下と70歳代以上では「大いにそう思う」、それ以外の年代では、「まあまあそう思う」がそれぞれ最も多くなっている。

居住地区別にみると、笠利地区では「大いにそう思う」、その他の居住地区では「まあまあそう思う」がそれぞれ最も多くなっている。

【教育環境の満足度 N=741】



(N=741)

		大いにそう思う	まあまあ そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全く思わない	分からない	無回答
性別	男性(N=273)	80 29.3%	87 31.9%	74 27.1%	18 6.6%	8 2.9%	5 1.8%	1 0.4%
	女性(N=413)	124 30.0%	148 35.8%	103 24.9%	20 4.8%	5 1.2%	10 2.4%	3 0.7%
年代別	10歳代(N=30)	14 46.7%	5 16.7%	8 26.7%	3 10.0%	- 0.0%	- 0.0%	- 0.0%
	20歳代(N=47)	18 38.3%	13 27.7%	11 23.4%	2 4.3%	2 4.3%	1 2.1%	- 0.0%
	30歳代(N=83)	21 25.3%	29 34.9%	21 25.3%	7 8.4%	3 3.6%	2 2.4%	- 0.0%
	40歳代(N=90)	26 28.9%	34 37.8%	25 27.8%	2 2.2%	1 1.1%	2 2.2%	- 0.0%
	50歳代(N=121)	28 23.1%	39 32.2%	35 28.9%	11 9.1%	3 2.5%	5 4.1%	- 0.0%
	60歳代(N=147)	32 21.8%	57 38.8%	44 29.9%	9 6.1%	2 1.4%	1 0.7%	2 1.4%
	70歳代(N=145)	58 40.0%	48 33.1%	34 23.4%	2 1.4%	2 1.4%	- 0.0%	1 0.7%
	80歳以上(N=72)	28 38.9%	22 30.6%	11 15.3%	3 4.2%	3 4.2%	4 5.6%	1 1.4%
居住地区別	名瀬(N=524)	155 29.6%	176 33.6%	138 26.3%	32 6.1%	11 2.1%	10 1.9%	2 0.4%
	住用(N=85)	25 29.4%	32 37.6%	21 24.7%	2 2.4%	2 2.4%	2 2.4%	1 1.2%
	笠利(N=120)	46 38.3%	36 30.0%	26 21.7%	6 5.0%	2 1.7%	3 2.5%	1 0.8%



⑥ 医療・福祉環境の満足度（奄美は、医療機関や福祉が充実していると思いますか？）

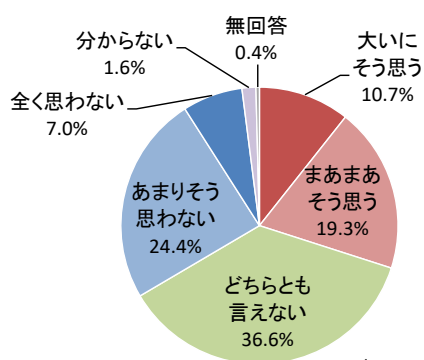
医療・福祉環境の満足度については、「どちらとも言えない」が36.6%で最も多く、次いで「あまりそう思わない」(24.4%)の順となっており、『そう思う』(「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」の合計)は30.0%にとどまり、『そう思わない』(「あまりそう思わない」と「全く思わない」の合計 31.4%)がわずかに上回っている。

これを性別にみると、男女とも「どちらとも言えない」が最も多く、全体とほぼ同様の傾向にある。

年代別にみると、30歳代と50歳代では「あまりそう思わない」、80歳以上では「まあまあそう思う」、それ以外の年代では「どちらとも言えない」がそれぞれ最も多くなっている。

居住地区別にみると、どの地区においても「どちらとも言えない」が最も多くなっており、全体とほぼ同様の傾向にある。

【医療・福祉環境の満足度 N=741】



(N=741)

		大いにそう思う	まあまあそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全く思わない	分からない	無回答
性別	男性(N=273)	33 12.1%	45 16.5%	108 39.6%	63 23.1%	22 8.1%	1 0.4%	1 0.4%
	女性(N=413)	41 9.9%	74 17.9%	152 36.8%	108 26.2%	27 6.5%	9 2.2%	2 0.5%
年代別	10歳代(N=30)	2 6.7%	4 13.3%	15 50.0%	8 26.7%	1 3.3%	- 0.0%	- 0.0%
	20歳代(N=47)	4 8.5%	9 19.1%	14 29.8%	13 27.7%	5 10.6%	2 4.3%	- 0.0%
	30歳代(N=83)	5 6.0%	12 14.5%	24 28.9%	28 33.7%	14 16.9%	- 0.0%	- 0.0%
	40歳代(N=90)	3 3.3%	12 13.3%	40 44.4%	30 33.3%	5 5.6%	- 0.0%	- 0.0%
	50歳代(N=121)	5 4.1%	22 18.2%	41 33.9%	42 34.7%	8 6.6%	3 2.5%	- 0.0%
	60歳代(N=147)	11 7.5%	29 19.7%	64 43.5%	32 21.8%	9 6.1%	1 0.7%	1 0.7%
	70歳代(N=145)	33 22.8%	30 20.7%	53 36.6%	19 13.1%	5 3.4%	4 2.8%	1 0.7%
	80歳以上(N=72)	14 19.4%	24 33.3%	19 26.4%	8 11.1%	4 5.6%	2 2.8%	1 1.4%
居住地区別	名瀬(N=524)	51 9.7%	102 19.5%	178 34.0%	142 27.1%	42 8.0%	7 1.3%	2 0.4%
	住用(N=85)	11 12.9%	17 20.0%	40 47.1%	12 14.1%	3 3.5%	2 2.4%	- 0.0%
	笠利(N=120)	15 12.5%	20 16.7%	51 42.5%	26 21.7%	5 4.2%	2 1.7%	1 0.8%

⑦ 地産地消度（あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだなと思いますか？）

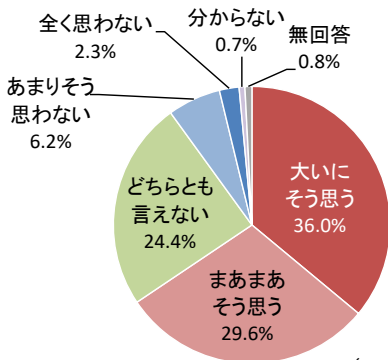
地産地消度については、「大いにそう思う」が36.0%で最も多く、次いで「まあまあそう思う」（29.6%）の順となっており、『そう思う』（「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」の合計）は65.6%となっている。

これを性別にみると、男性では「まあまあそう思う」、女性では「大いにそう思う」がそれぞれ最も多くなっており、男女で若干の違いがみられている。

年代別にみると、50歳代では「まあまあそう思う」、それ以外の年代では「大いにそう思う」がそれぞれ最も多くなっている。

居住地区別にみると、名瀬と笠利地区では「大いにそう思う」、住用地区では「まあまあそう思う」がそれぞれ最も多くなっている。

【地産地消度 N=741】



(N=741)

		大いにそう思う	まあまあそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全く思わない	分からない	無回答
性別	男性(N=273)	77 28.2%	85 31.1%	77 28.2%	23 8.4%	10 3.7%	- 0.0%	1 0.4%
	女性(N=413)	164 39.7%	121 29.3%	93 22.5%	21 5.1%	5 1.2%	5 1.2%	4 1.0%
年代別	10歳代(N=30)	13 43.3%	8 26.7%	6 20.0%	2 6.7%	- 0.0%	1 3.3%	- 0.0%
	20歳代(N=47)	21 44.7%	14 29.8%	10 21.3%	1 2.1%	- 0.0%	1 2.1%	- 0.0%
	30歳代(N=83)	24 28.9%	24 28.9%	23 27.7%	7 8.4%	5 6.0%	- 0.0%	- 0.0%
	40歳代(N=90)	30 33.3%	26 28.9%	29 32.2%	3 3.3%	2 2.2%	- 0.0%	- 0.0%
	50歳代(N=121)	37 30.6%	41 33.9%	24 19.8%	16 13.2%	2 1.7%	- 0.0%	1 0.8%
	60歳代(N=147)	48 32.7%	46 31.3%	43 29.3%	8 5.4%	2 1.4%	- 0.0%	- 0.0%
	70歳代(N=145)	59 40.7%	41 28.3%	30 20.7%	7 4.8%	3 2.1%	2 1.4%	3 2.1%
	80歳以上(N=72)	32 44.4%	18 25.0%	15 20.8%	1 1.4%	3 4.2%	1 1.4%	2 2.8%
居住地区別	名瀬(N=524)	189 36.1%	147 28.1%	134 25.6%	35 6.7%	11 2.1%	4 0.8%	4 0.8%
	住用(N=85)	27 31.8%	29 34.1%	22 25.9%	4 4.7%	2 2.4%	1 1.2%	- 0.0%
	笠利(N=120)	47 39.2%	40 33.3%	23 19.2%	6 5.0%	3 2.5%	- 0.0%	1 0.8%

⑧ 招待意向度（あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？）

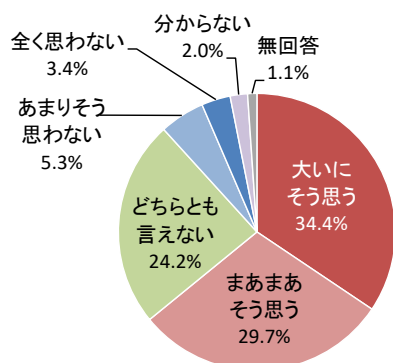
招待意向度については、「大いにそう思う」が34.4%で最も多く、次いで「まあまあそう思う」（29.7%）の順となっており、『そう思う』（「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」の合計）は64.1%となっている。

これを性別にみると、男女とも「大いにそう思う」が最も多く、全体とほぼ同様の傾向にある。

年代別にみると、60歳代と80歳以上では「まあまあそう思う」、それ以外の年代では「大いにそう思う」がそれぞれ最も多くなっている。

居住地区別にみると、どの地区においても「大いにそう思う」が最も多く、全体とほぼ同様の傾向にある。

【招待意向度 N=741】



(N=741)

		大いにそう思う	まあまあそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全く思わない	分からない	無回答
性別	男性(N=273)	89 32.6%	89 32.6%	60 22.0%	19 7.0%	11 4.0%	3 1.1%	2 0.7%
	女性(N=413)	148 35.8%	120 29.1%	102 24.7%	18 4.4%	11 2.7%	11 2.7%	3 0.7%
年代別	10歳代(N=30)	15 50.0%	10 33.3%	3 10.0%	1 3.3%	- 0.0%	1 3.3%	- 0.0%
	20歳代(N=47)	25 53.2%	9 19.1%	7 14.9%	2 4.3%	2 4.3%	1 2.1%	1 2.1%
	30歳代(N=83)	30 36.1%	26 31.3%	18 21.7%	3 3.6%	6 7.2%	- 0.0%	- 0.0%
	40歳代(N=90)	33 36.7%	27 30.0%	20 22.2%	8 8.9%	2 2.2%	- 0.0%	- 0.0%
	50歳代(N=121)	40 33.1%	39 32.2%	26 21.5%	10 8.3%	3 2.5%	3 2.5%	- 0.0%
	60歳代(N=147)	36 24.5%	52 35.4%	45 30.6%	6 4.1%	3 2.0%	5 3.4%	- 0.0%
	70歳代(N=145)	54 37.2%	31 21.4%	39 26.9%	6 4.1%	7 4.8%	5 3.4%	3 2.1%
	80歳以上(N=72)	19 26.4%	25 34.7%	19 26.4%	3 4.2%	2 2.8%	- 0.0%	4 5.6%
居住地区別	名瀬(N=524)	183 34.9%	156 29.8%	118 22.5%	28 5.3%	19 3.6%	15 2.9%	5 1.0%
	住用(N=85)	28 32.9%	26 30.6%	23 27.1%	6 7.1%	1 1.2%	- 0.0%	1 1.2%
	笠利(N=120)	40 33.3%	36 30.0%	33 27.5%	5 4.2%	4 3.3%	- 0.0%	2 1.7%

⑨ おもてなし意向度（あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？）

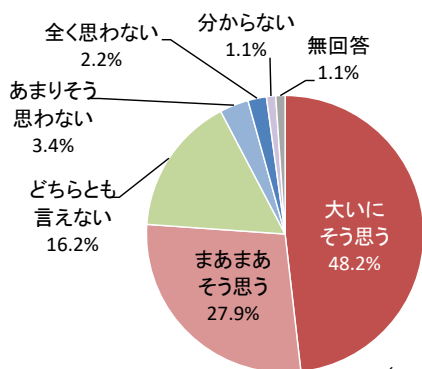
おもてなし意向度については、「大いにそう思う」が48.2%で最も多く、次いで「まあまあそう思う」（27.9%）の順となっており、『そう思う』（「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」の合計）は76.1%と7割を超えている。

これを性別にみると、男女とも「大いにそう思う」が最も多く、全体とほぼ同様の傾向にある。

年代別にみると、どの年代においても「大いにそう思う」が最も多く、全体とほぼ同様の傾向にある。

居住地区別にみると、名瀬と笠利地区では「大いにそう思う」、住用地区では「まあまあそう思う」がそれぞれ最も多くなっている。

【おもてなし意向度 N=741】



(N=741)

		大いにそう思う	まあまあそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全く思わない	分からない	無回答
性別	男性 (N=273)	126 46.2%	77 28.2%	48 17.6%	11 4.0%	8 2.9%	2 0.7%	1 0.4%
	女性 (N=413)	201 48.7%	117 28.3%	68 16.5%	12 2.9%	5 1.2%	6 1.5%	4 1.0%
年代別	10歳代 (N=30)	15 50.0%	9 30.0%	5 16.7%	1 3.3%	- 0.0%	- 0.0%	- 0.0%
	20歳代 (N=47)	25 53.2%	11 23.4%	9 19.1%	- 0.0%	1 2.1%	1 2.1%	- 0.0%
	30歳代 (N=83)	39 47.0%	22 26.5%	10 12.0%	7 8.4%	4 4.8%	1 1.2%	- 0.0%
	40歳代 (N=90)	50 55.6%	22 24.4%	11 12.2%	6 6.7%	1 1.1%	- 0.0%	- 0.0%
	50歳代 (N=121)	59 48.8%	33 27.3%	20 16.5%	6 5.0%	2 1.7%	1 0.8%	- 0.0%
	60歳代 (N=147)	60 40.8%	52 35.4%	28 19.0%	1 0.7%	3 2.0%	2 1.4%	1 0.7%
	70歳代 (N=145)	73 50.3%	34 23.4%	27 18.6%	1 0.7%	2 1.4%	3 2.1%	5 3.4%
	80歳以上 (N=72)	33 45.8%	23 31.9%	10 13.9%	2 2.8%	3 4.2%	- 0.0%	1 1.4%
居住地区別	名瀬 (N=524)	262 50.0%	144 27.5%	80 15.3%	17 3.2%	9 1.7%	7 1.3%	5 1.0%
	住用 (N=85)	30 35.3%	31 36.5%	17 20.0%	4 4.7%	2 2.4%	1 1.2%	- 0.0%
	笠利 (N=120)	62 51.7%	27 22.5%	22 18.3%	3 2.5%	4 3.3%	- 0.0%	2 1.7%

⑩ 永住希望度（あなたは奄美に今後も住みたいですか？）

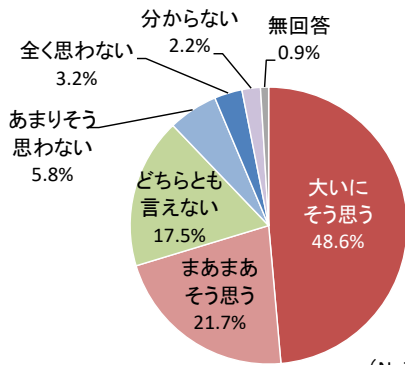
永住希望度については、「大いにそう思う」が48.6%で最も多く、次いで「まあまあそう思う」（21.7%）の順となっており、『そう思う』（「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」の合計）は70.3%となっている。

これを性別にみると、男女とも「大いにそう思う」が最も多く、全体とほぼ同様の傾向にある。

年代別にみると、10歳代では「どちらとも言えない」、それ以外の年代では「大いにそう思う」がそれぞれ最も多くなっている。

居住地区別にみると、どの地区においても「大いにそう思う」が最も多く、全体とほぼ同様の傾向にある。

【永住希望度 N=741】



(N=741)

		大いにそう思う	まあまあ そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全く思わない	分からない	無回答
性別	男性(N=273)	124 45.4%	64 23.4%	55 20.1%	16 5.9%	8 2.9%	5 1.8%	1 0.4%
	女性(N=413)	200 48.4%	90 21.8%	69 16.7%	26 6.3%	13 3.1%	10 2.4%	5 1.2%
年代別	10歳代(N=30)	7 23.3%	4 13.3%	12 40.0%	5 16.7%	- 0.0%	2 6.7%	- 0.0%
	20歳代(N=47)	14 29.8%	10 21.3%	13 27.7%	5 10.6%	5 10.6%	- 0.0%	- 0.0%
	30歳代(N=83)	25 30.1%	22 26.5%	17 20.5%	10 12.0%	5 6.0%	3 3.6%	1 1.2%
	40歳代(N=90)	41 45.6%	18 20.0%	21 23.3%	5 5.6%	4 4.4%	1 1.1%	- 0.0%
	50歳代(N=121)	45 37.2%	29 24.0%	29 24.0%	10 8.3%	3 2.5%	5 4.1%	- 0.0%
	60歳代(N=147)	77 52.4%	44 29.9%	17 11.6%	3 2.0%	2 1.4%	3 2.0%	1 0.7%
	70歳代(N=145)	97 66.9%	23 15.9%	15 10.3%	3 2.1%	2 1.4%	1 0.7%	4 2.8%
	80歳以上(N=72)	49 68.1%	11 15.3%	6 8.3%	1 1.4%	3 4.2%	1 1.4%	1 1.4%
居住地区別	名瀬(N=524)	245 46.8%	119 22.7%	97 18.5%	32 6.1%	16 3.1%	11 2.1%	4 0.8%
	住用(N=85)	44 51.8%	21 24.7%	14 16.5%	2 2.4%	3 3.5%	1 1.2%	- 0.0%
	笠利(N=120)	61 50.8%	20 16.7%	19 15.8%	9 7.5%	4 3.3%	4 3.3%	3 2.5%

## (2) 日々の生活で「幸せ」・「満足」、「不幸」・「不満」に感じる事

### 1) 日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じる事

#### ① 記述回答結果

日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じる事についての記述回答結果を居住地別、年代別にみると、以下のとおりとなっている。

#### 【日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じる事（居住地：名瀬 その1）】

年代	性別	「幸せ」または「満足」に感じる事
10 歳代	男性	釣りに行きたい時にすぐ行けること
	女性	島の人はみんな優しく、犯罪も少ないので安心して暮らせていることが幸せです。
	男性	きれいな海が近くにあること。普段から海などの自然に触れることで心が落ち着くので幸せ。
	女性	好きなものを好きな時に食べられること
	女性	当たり前の日常が送れていること
	女性	ゆっくり出来る時
	男性	ご飯を食べれてゆっくり寝ることが出来る
	女性	自然が多いこと
	男性	自然が豊かで島外の人に評価されていること
	女性	食べている時。遊んでいる時。好きな事をしている時。家族友人という時。
20 歳代	男性	島の愛、温かさなどがあり自然が沢山あること
	男性	何か楽しい事があった時
	女性	島時間、夕日、海、夜空(星)などの自然
	女性	天気の良い日に家族みんなで外に出かけると幸せを強く感じる。
	女性	海がきれい。自然がたくさんある。身内がいてたくさん助けてもらっている。
	女性	人が優しい。自然がきれい。
	女性	のんびりとした時間を過ごせる時
	女性	海を見に行った時に、透き通る青色を見ると幸せを感じる
	女性	奄美の自然に触れ合える時。絶景を楽しむ時。
	男性	友人と遊んだり会う時。釣り、遊泳をしている時。
	男性	自然がきれい
	男性	きれいな海で遊べること。人が優しい。空気がきれい。
	女性	海がきれい
	女性	食事を取っている時
	女性	空、海、夕日がきれいな時
	男性	人の温かさを感じる事
	-	自然や景色がきれいなところ
	女性	人が喜んでくれることが満足。
	女性	自然豊か、美味しいものを食べている時。友達と楽しく過ごしている時。
	女性	家族と一緒に暮らせること
女性	奄美の美味しい食材を食べた時	
女性	家族で過ごすとき。(海、山遊び等)	
女性	自然が豊か。海がきれい。風が気持ちいい。優しい人が多い。困っていたら助けてくれる人がいる。	
30 歳代	女性	奄美の海と空の青さを感じる事が出来ること
	男性	こんなにも自然豊かな島で育ったということ
	女性	子どもたちが自然の中で自由に遊べる事
	男性	自然が近いところ(海、山)
	女性	自然豊かで癒される。
	女性	美味しいものを食べた時。子どもの笑顔を見た時。
	女性	雀ではなく、色々な鳥の音が街中でも聞こえてくること。夜も暗く、星が良く見えること。子どもが大声を出してもそこまで気にしなくても良いこと。
	男性	海がきれい
	女性	青い海、青い空、緑の山々等自然豊かなところ。人々がゆったりニコニコしているところ。
	男性	ゆったりと時間が過ぎること
	女性	Amazon などの注文品がスムーズにいくと 2 日ほどで届くこと
	女性	自然の美しさ。奄美に来てから日常の中の自然の美しさを初めて知れた。日々幸せに感じられる。
	女性	豊かな自然があること
	女性	ごはんを食べてゆっくり休める時間。美容室にいる時間。きれいな海を気軽に見れること。都会の様な騒々しさが無い。
	女性	子どもの行事を見ている時

※記載があった全てを原文のまま記載。「-」は不明。(以下も同様)

【日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じる事（居住地：名瀬 その2）】

年代	性別	「幸せ」または「満足」に感じる事
30 歳代	男性	身内が近くにいる。海が近い。
	女性	挨拶してくる人
	女性	家族が元気に過ごしていること
	男性	海、山、空気が素晴らしい
	男性	自然豊かな環境
	男性	知り合いの輪が増えていく時
	女性	きれいな海が近くにあること
	男性	自然が豊か
	男性	子どもと過ごす時間
	女性	自然が身近にたくさんある。ゆったりとした時間が流れている。
	男性	自然が良いこと
	-	自然を眺める時(海、夕日)
	女性	海が近く、子どもたちは自然の中で遊ぶことが出来るところ
	女性	子どもの笑顔を見た時。奄美のきれいな海を見た時。
	女性	家族が健康で元気に生活出来ていること
	女性	家の近くにスーパーや薬局があること
	女性	人が大らかで優しい。自然が豊か。海がきれい。
	男性	自然豊かなところ
	男性	自分が生まれ育ったところなので、単純に好きです。幸せです。
	男性	子どもの笑顔
	男性	豊かな自然が近くにあること
	女性	海や川で子ども達を遊ばせることが出来る
	女性	きれいな奄美の海を眺めている時。おいしいものを食べている時。家族で過ごしている時。
	女性	家族と過ごせて、健康でいられること。仕事をして収入が得られること。
	女性	豊かな自然を身近に触れ合えること。大切な家族と一緒に過ごす時間。
	男性	海がきれい
	男性	美しい海が好きな時にみれること
	男性	奄美の海、自然に触れた時。
	女性	クロマグロなど美味しいものを食べるときが幸せです。奄美の人はとても親切ですが接客が良いのもっといいと思います。
	男性	家族で楽しく過ごすこと
	女性	奄美の自然や住まれている方々との交流
	女性	昔からの友人が身近にいる。子どもや老人等初めて話す人とも気さくに自然に話せる機会が多い。コロナ禍でも人目を気にせず過ごせて自然が多い。
女性	子どもたちの笑顔。花火大会で花火の音が体中に響く時。波の音を聞いている時。休日に天気の良い時。	
女性	自然豊かな生活。気持ちの良い風。ゆったりとした時間。	
男性	生きていること	
男性	自然が身近にあること。近所に知り合いが多くて安心できる。	
40 歳代	女性	家族一緒に過ごしている毎日
	女性	子どもたちがのびのびと成長していること
	女性	海や山や空がきれいで、自然が豊かであること
	男性	家族で仲良く過ごせる。時間がゆっくりしている。
	男性	釣りがいつでも出来ること
	男性	奄美の山や海などの自然を感じる時
	-	家族が笑顔いっぱいな時
	男性	離島だがそんなに不便を感じないのは良いと思う。また、犯罪が少ないのも良い。
	男性	人の温かさ
	女性	家族で楽しく過ごすこと
	男性	自然豊かであり、人柄が良い方が多いと感じます。
	男性	1人の自由な時間がたくさんあること
	女性	家族が健康で過ごせていること
	女性	美味しいものを食べている時
	女性	すぐ近くに自然があること
	女性	不自由なく生活出来ていること
	男性	子どもたちが楽しく遊んでいるのを見ると幸せを感じる。
	女性	友人が近くにいること
	男性	子どもの笑顔を見た時
	女性	笑って過ごせること
女性	毎日きちんとご飯が食べられて、生活出来ていること	
女性	奄美の自然は美しく癒されます。また、ケンムン話等民俗学からみてもとても面白いので、島外の方にも是非知って欲しいです。	



【日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じる事（居住地：名瀬 その3）】

年代	性別	「幸せ」または「満足」に感じる事
40 歳代	女性	家族や仲間がいて、その周りの人も笑顔で過ごしていること。(小さな悩みはあっても。)
	男性	自然が良いこと
	男性	親、兄弟、親戚一同が健康で過ごしていること。
	男性	何気ない、家族と過ごす時間
	女性	自然が豊か。食が美味しい。出会う方が親切。
	男性	家族と一緒に居る時。地域活動に参加している時。
	女性	きれいな海、自然を見ている時
	男性	子どもと過ごしている時。自然を感じられる時。
	女性	自然が近くにあること
	男性	家族との会話がたくさんあること。10代、20代の若い人たちが奄美が大好きだと堂々と発信していること。
	女性	家族と共に過ごせること。自然の中で生活出来ること。衣食住に不自由がないこと。
	男性	住民が優しいところ。自然が素晴らしいところ。
	女性	日曜日の子どもの遊びの時間。(子どもの笑顔)
	女性	子育て中ですが、近所の人にも子どもに対して優しい目で見守ってくれる。
	-	夏にグアバの実の匂い嗅ぐ時
	女性	島から出られる時。家で家族団らんの時。島の人が珍しく親切にしてくれた時や優しい笑顔を向けてくれた時。
	男性	海はきれいで自然がいい。
	男性	仕事してビール飲んで、孫とお風呂に入り、日曜日はバイクに乗る
	女性	保育所も学童も良い所で子育てに適している
	男性	家族、親族がいつでも集まれる
女性	子連れで大変な時、知らない人がそっと助けてくれたこと。家族・仲間がいるということ。	
女性	自由に行動が出来て、好きな人との時間、美味しい食べ物を頂く時。子どもの成長を感じた時。	
男性	お酒を飲んでいる時	
女性	島内は車があれば移動しやすく生活しやすい。海が近くにあるので自然を感じる事が出来て満足している。	
女性	ゆっくりしていること	
女性	自然を見たり感じたりしている時に幸せを感じます	
女性	誰かと食事をしている時	
男性	自然に恵まれている	
男性	家族の笑顔。頑張っていることを応援してもらえること。	
50 歳代	女性	私自身及び両親が健康であること
	男性	奄美の景色を見てると、心が癒されます。
	男性	身近に海があること
	女性	自然、空気がきれい
	女性	子・孫と一緒にの町に住んでいること
	女性	親が残してくれた家のおかげでどうにか生活が出来ていること。猫がいること。
	女性	海、山、月、星、鳥等の自然を感じる時。祭りにも参加できるのが良い。可もなく不可もなく、まったりとぬるま湯に浸かっている感じが良い。
	-	暮らしやすい
	男性	家族とゆっくりしている時
	女性	穏やかで笑顔の多い島
	女性	店などが近くにあり便利。自然が美しく感動することもある。
	-	自然の豊かさ
	女性	働いていること
	男性	自然がいっぱいで心が癒される。海がきれい。数年前よりだいぶゴミが少ないと思います。
	女性	一緒に家族(親・子・孫)と過ごせること
	男性	自然が多いところ。きれいな海に囲まれて生活出来ること。
	女性	人と人との距離が近い
	女性	選択の自由があること
	女性	食後に家族で団欒する時。子どもの寝顔を見ている時。
	女性	家族が健康でいること
	女性	子どもたちが元気で健康に成長してくれたこと
	女性	家族で穏やかに過ごす日常
	男性	自然を満喫出来る。夏も割と涼しく生活出来る。名瀬まで来ると日常の買い物に不自由しない。
	女性	海がきれい。自然が多い。
	男性	両親が元気であること
	女性	家族が揃って笑って過ごせること
女性	家族をはじめ、周りの人々が健康で安全に過ごせ、経済的にも安定した生活を送ることが出来ること	
女性	ぐっすり寝れること。美味しい物を食べる時。	
男性	生活リズムが遅い	
女性	自然や食べ物が良い	
女性	毎日サウナに行きたいです	



【日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じる事（居住地：名瀬 その4）】

年代	性別	「幸せ」または「満足」に感じる事
50 歳代	女性	只今大活躍中の推しを応援出来ている。生活に余裕がある事かなと思う。
	女性	海や空や星を見た時
	女性	海の色。夕日に癒されるところ。
	女性	今、母親が健康でいること。92歳の母親が健全で近くに住んでおり、いつでも会えること
	女性	いつでも海が見えること
	女性	何事も無く日々生活出来ていること
	女性	家族が健康でいること
	女性	地場産の美味しいフルーツや野菜を食べた時。きれいな空と海を見た時。
	男性	海の幸が美味しいこと。人が親切なところ。
	女性	新しい体験等が出来た時
	女性	日常の移動等が自分で出来ること。自然がすぐ近くにあること。
	女性	自然が豊か
	女性	島外の子どもが帰ってきてくれる時。親の介護が出来ること。
	男性	何気ない日常生活
	女性	奄美の自然の豊かさ
	女性	美味しい食事やお菓子を味わって食べる事。知人と会話してコミュニケーションをとること。テレビやスマホでニュースを見て情報を得ること。
	女性	海がきれいで自然が多くある
	男性	奄美の美しい自然に触れている時
	男性	雄大な自然に包まれていること
	女性	趣味をしている時。友達とドライブしている時。
	女性	名瀬市内から少し移動すると多くの自然と触れることが出来ることは幸せだと思う。都市と自然とバランスが素晴らしいと思う。
	女性	家族が元気で、当たり前前のごとが毎日出来ること
	女性	美味しいものを食べた時。野外ライブや旅行に出かけた時。
	女性	自分がしたいことを十分にできる時
	男性	自然を身近に感じる
	女性	朝寝坊が出来た時
	女性	青い海と青い空を見ると「幸せ」と思う
	男性	自然がある。人や街並みが丁度良い。過ごしやすい広さ。
	男性	街がきれいで活気に溢れていること
	男性	自然が豊富なこと
女性	美味しい物を食べる事	
女性	家族で仲良く暮らしていること	
60 歳代	男性	自然があるところ
	女性	ストレスや心配事が無く、自由自在(思い通り)に動け、毎日が楽しい時は何があっても幸せを感じる。
	女性	家族全員が健康でいることに幸せを感じます。
	女性	日々穏やかに過ごせていること。家庭菜園や花に触れている時幸せを感じます。
	女性	砂浜がきれい。野鳥の声に癒されます。粗大ごみの料金が安いのが有難いです。
	女性	奄美で生まれ育っているので、奄美が一番好きです。青い海と空、とっても幸せです。
	男性	地域の清掃等持続的に貢献している方を見た時。子どもたちや高齢者を大切にす道徳的気風を感じた時。
	男性	健康であること
	女性	健康であること。この島で生まれ、死を迎えられること。
	男性	自然の姿が美しいので、今後もあまり手を入れず残して欲しいと思う。
	女性	毎日平穏な生活が贈れること
	男性	自然に恵まれている。隣人とのつながりが深い。結の精神。
	女性	島は平和。子・孫が島に住んでいて幸せ。
	女性	①美容室に行く時 ②ショッピングしている時 ③主人とドライブしている時 ④娘とLINEしている時(遠方にいるので)
	-	家族が元気であること
	男性	豊かな自然と優しさに溢れた人々たちとの交流
	男性	健康であること。第2の人生を満喫していること。
	男性	温暖で生活しやすい
	男性	体が健康で病気が無い
	男性	家族が健康でいること
	女性	日常生活に安心感があること
	男性	環境の良さ
	女性	友人とドライブランチに行く時
	女性	仕事が出来て、子ども・孫も近くに来て、お互い健康でいること
	男性	家族が健康でそれぞれ仕事に従事していること
	男性	三世代家族一緒に同居していること。大和村から名瀬に移住したこと。

【日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じる事（居住地：名瀬 その5）】

年代	性別	「幸せ」または「満足」に感じる事
60 歳代	女性	考えたことがありません。強いて言うなら、今のところ年金でなんとか生活している事でしょうか。
	男性	豊かな自然があり、火山灰の大きな被害がないこと
	女性	この年まで健康で仕事ができること
	男性	体が動いてスポーツを楽しむことができること
	男性	良き妻と理解し合い満足に仲良く暮らせていること
	女性	自然豊かで周りの人に恵まれている。孫との触れ合い。
	男性	自然を身近に感じる事
	男性	夜ゆっくり寝ること
	女性	普通に生活出来ることに「満足」を感じる
	男性	世界自然遺産に登録された島であること
	女性	家族が笑顔でいること
	男性	日常生活に便利なスーパーが多く、品物を買って求めやすい。
	女性	家庭菜園を趣味にしている。孫たちとスマホで会話出来ている。
	女性	孫と遊べる事。美味しい物を食べられること。
	女性	子ども、孫との触れ合い。友人、親戚との付き合い。
	-	自然が豊かである
	男性	生まれたところで生活出来ている。自然環境が良い。
	女性	現在健康であること
	女性	家族、親戚、友人、職場の人間関係に恵まれて、普通の生活が出来ていることが嬉しく感謝しています。
	女性	家族、親族に恵まれていること。(愛情面)奄美の自然、憩いの場があること
	女性	まだ働けていること
	男性	自然が身近にある
	女性	都会と比べたら交通量が少なく住みやすい
	女性	安心して暮らせる。
	女性	誰かのために自分が役に立ったと感じた時。(そう言ってもらえた時)
	女性	普通の生活が出来ていること
	男性	治安が良い
	女性	都会と違って人々が親しみやすい
	女性	健康で経済的に安定した生活
	-	この年齢になっても働ける場所があり、元気で過ごせていることが幸せだと思う
	女性	きれいな海を毎日見る事が出来る
	女性	事件・災害等も少なく、安心安全に暮らせること
	女性	人間関係、医療関係が充実している
	女性	地域の生活に必要な施設が整っていて、便利に安全に過ごせること
	女性	自然が豊か
	女性	自分や家族が健康なこと。周りに争いがないこと。
	女性	友だちと週1回体操教室へ通いおしゃべりすること
	女性	自由に過ごせている
	男性	海・山・自然が豊かで、お店もそれなりに揃っている
	男性	孫と食事をしている時
	男性	健康であること。美味しい食事をした時。
	女性	子、孫達と毎日会え、友達と語り笑えること
-	自然の中で暮らせる	
男性	盆栽ができること。自然が多いこと	
男性	のんびりとした暮らし方が出来ている	
女性	豊かな自然	
女性	人と人の繋がりが強いこと	
女性	70歳になったばかりですが、まだ仕事が出来て人並の生活が出来ている。	
女性	いつでも海の景色が見れる。地元の食材を使った料理を食べる。	
男性	役所が空いていて、色々な手続きが面倒くさくない。	
男性	豊かな自然。ゆったりとした生活。	
男性	1日3食、食事が出来ること	
男性	自然が良い。お店、医療体制が整っている。	
女性	子どもたち、孫たち、お嫁さんたち、その他自分に関わる人が幸せであればそれが自分の幸せに繋がる。そして何よりも自分自身が元気であればより幸せ。	
女性	子どもたちが近くにいる見守ってくれていることが幸せだと感じます	
女性	健康であること	
男性	子どもたちの笑い声	
女性	奄美は神々が守ってくれる素晴らしい島だと思っています。	
70 歳代	女性	子どもたちが大事にしてくれていること
	女性	自然に恵まれていること。人と人との繋がりが。

【日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じる事（居住地：名瀬 その6）】

年代	性別	「幸せ」または「満足」に感じる事
70 歳代	男性	夫婦、子ども、孫が健在なこと
	女性	子どもと一緒に生活出来ていること。
	男性	奄美の季節と自然(海と山)
	女性	毎日平穏で、食事や好きなことが出来ること。健康で毎日過ごせていること。
	女性	三食を介護者が見守ってくださること
	女性	子どもや孫の笑顔を見る時に一番幸せを感じる。
	女性	子どもたちが皆島にいていつでも会えること
	女性	豊かな自然の中でのおんびりグラウンドゴルフが出来ること。友人が増えたこと。
	女性	清らかな自然(空気や動植物)に包まれた時
	女性	友人と集まることができ、色々語り合えること。市の催しなども楽しみです。
	男性	治安が良い
	男性	毎年の気候が本土より過ごしやすい
	女性	健康で一日好きなことが出来て、子どもたちが幸せでいること
	女性	奄美が世界自然遺産に登録されたこと
	女性	子どもと孫が皆島に住んでいて、いつでも会えること
	女性	毎日が満足に生活出来ている
	男性	魚がいっぱい釣れた時。朝起きた時。
	女性	親・弟妹・子・孫、みんな奄美に住んでいて会いたい時、食事したい時にすぐ集まる事が出来る。
	女性	健康なこと
	-	医療機関やスーパー等とても便利だと思う
	男性	チームでテニスや野球が出来る
	女性	自然が良いこと
	女性	最近では海外も国内も自然災害が多いので満足とは言えませんが幸せです
	男性	健康であること。一応衣食住にある程度満足していること。
	女性	奄美の自然と人情豊かなところ
	女性	家庭、生活、自然に満足しています。子どもにも友人にも感謝しています。
	男性	家族一緒に暮らしていること
	女性	1人でのんびり過ごせること
	女性	周りの方に恵まれている
	女性	奄美では高齢者のグラウンドゴルフが盛んなので、笑顔で健康な高齢者が多いです。私も早く元気になって以前の様にグラウンドゴルフが出来れば幸せです。
	男性	都会の生活にはない、身近にある自然環境の中でのおんびりと生活可能なこと。大変幸せな島だと思います。
	女性	奄美の雄大な自然環境の中で、豊富な特産物など毎日食事が出来る事が幸せです。
	-	交通面は多少便利である。(台風時は別)
	女性	自然の豊かさです。ただ、世界自然遺産に登録されたことによって荒らされるのが怖いです
	女性	住み慣れた地が自分を受け入れてくれていると思う
	女性	家族が元気であること
	男性	子どもたちが成長していく姿を見ること
	男性	好きな農作業をしている時
	-	今のところ大きな病気もしたことがないので、健康でいられることが幸福かなと思います。空気も良いし、安全に暮らせる島が大好きです。
	-	今はコロナ禍で会いたい人にすぐ会えませんが、いつもは近くにいりすぐ会えることが幸せです。
	女性	楽しくお話出来る友達が多い。島に美味しい食べ物がたくさんある。
	女性	自然がいっぱい誇らしく思う
男性	仕事があること	
男性	気候が良い。人口の割に各機関が充実している。	
男性	冬は暖かい。知人が周りに多い。	
-	素晴らしい自然環境の中で生きていること	
女性	大自然の中、心豊かに過ごせています	
-	空気がきれいで、人もゆったりしていて都会とは違いのおんびりしている。	
-	定年まで二人共働いて贅沢しなければ生活できること。子や孫も元気で健康で頑張っていること。身内の親戚も世間に迷惑をかけていないこと。	
女性	健康であること、毎日美味しい食事が出来ること	
男性	奄美のタラソ・奄美体験交流館(サウナ)	
-	鳥の鳴き声に感動します。	
女性	隣近所の方々に恵まれている方だと思います。世界自然遺産の切手シート、各戸に1枚ずつでも配布すべきだと思います。	
女性	素敵な自然が身近に多い。コンパクトな街で何をするのも楽である。	
女性	奄美が好きだからです	
女性	孫と一緒に生活できること	
男性	自然に恵まれていること。その自然と共鳴した伝統行事や身の置き方が残っていること。	

【日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じる事（居住地：名瀬 その7）】

年代	性別	「幸せ」または「満足」に感じる事
70 歳代	女性	健康であること。友人がいる。仕事がある。
	女性	教会でミサに参加し、時間のあるときは友人とグランドゴルフをしている。多くの友人知人がたくさん来て幸せです。
	女性	コロナが落ち着いてきて、日常の生活にリズムが出来つつあります。
	男性	医療機関が充実していること
	女性	夫と共に健康である。近くに子ども(2人)や孫(4人)がいるので、誕生日会等みんなでお祝いし、それぞれの成長を見守る事が出来る。
	女性	海へ行くと貝や海藻、山へ行くと野草や薬草と自然からの恩恵と出会えた時
	男性	年中暖かいこと
	-	1人で朝早く歩くこと
80 歳以上	男性	子どもたちや老人施設の介護を支援してくださっている方々に満足を感じる
	女性	平穩であること
	-	家族・友人に恵まれとても満足な日々を過ごすことが出来ていますので、とても幸せです。
	男性	奄美に住む人の人間性、温暖な気候
	女性	家族と一緒に居ること
	男性	人の心
	女性	隣人との関係が良い
	男性	奄美大島内どこに行っても空気がおいしいこと
	女性	何の心配事もないので今が幸せだと感じます。(子どもが近くにいるので)
	-	5人も子どもが大学を卒業して島に貢献してくれていること
	-	周りに昔からの友人・知人が大勢いること
	女性	台風を除けば住みやすい。自然が美しい。
	女性	空気がさわやかで高齢者に適している
	男性	孫の成長を感じたり一緒に遊んだりする時。好きなものを食べて好きなことをして楽しく暮らしている。
	男性	隣近所の方々と触れ合いがあること
	女性	美味しい物、好きな物を食べる。人と話をして笑顔になること。島唄を歌ったり聞くこと。
	女性	季節ごとに採れる海、山の産物、スモモ、タンカン等を食べる時はとても幸せを感じます
	女性	老人福祉館にいる時
	女性	今現在は健康で好きな畑仕事が出来ていること
	男性	一緒に生活してくれる人がいること
	女性	食べ物がたくさんある時は、近所の家族と分け合っている。他ではあまりないことではないでしょうか。
	女性	戦後の貧しい時代を経験しているので、現在はとても恵まれておりそれなりに幸せだと思う。福祉が充実しているのには本当に満足しています。色々なことを全て受け入れる様にしているので、不満等はあまり感じません。
	男性	自然豊か
	-	元気なこと
	男性	近くにスーパーがある
	-	都会から子ども達が帰って来てくれるのが楽しみです。
	男性	何不自由なく生活出来ること
	男性	奄美は景色は良いし、海や山に行けば空気も良いので住みやすいところ。自分の趣味も活かせるし、食料は自分の努力次第(畑で芋や野菜を作れば買うのは米だけ)で食べていける。
女性	人々が穏やかで親切である	
女性	家族と一緒にいること	
女性	自然が豊か	
-	女性	買い物出来るお店が近くにあること

【日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じる事（居住地：住用）】

年代	性別	「幸せ」または「満足」に感じる事
10 歳代	男性	高校の教室で友達と雑談している時
	女性	緑や海に囲まれていること
20 歳代	男性	家族や友だちと過ごせること
	女性	海・川にいつでも遊びに行けること
	男性	近所の同年代の子ども達と定期的に集まって遊んでいる時
30 歳代	男性	自然が豊か
	女性	友人と遊ぶ時
	男性	離島にいながら、都会と同じように欲しい物の買い物が出来て無事に届くこと
	女性	地域活動
	女性	姉妹、身内が島内にいるので、何かと助けてもらっていることが多く有難いです。
	女性	友人等と話をする時、奄美は自然がきれいで良い所だよねと言われたり、自然に触れ合うことが出来た時
40 歳代	女性	自然が多く、人も温かく、のんびりしていて電車がいないため
	男性	何も不自由なく生活出来ること
	女性	全て幸せです
	女性	一年間家族が事故もなく健康で過ごせた時に幸せを感じます。
	女性	関東から来たせいか、豊かな自然の中で自然の中でのんびりとした時間を過ごしていると幸せを感じます。
	女性	自然に癒される。動植物が身近にある。
50 歳代	男性	両親が元気で仕事もあり、毎日のんびり過ごせること
	女性	話し相手が笑顔でお話くださった時。ほっと一人時間を過ごし何かに没頭している時。
	女性	休日に畑仕事をしている時
	男性	夫婦仲良く生活出来ていること
	男性	家族の笑顔。子どもの成長。
	女性	毎日普通に三食食事がとれて、自分自身で身の回りの事が出来ること
	女性	仕事、人間関係が上手くいった時
	女性	①素晴らしい自然・文化の中で生活している ②地域の方がとても温かい
	女性	毎日の生活の中で、山で木の実を採ってきて飾りを作ったり、海で貝殻を採ったり、家族でタナガやカニを採ったりする。時には鰻が採れてその鰻がバケツから飛び出し孫たちと大騒ぎする。そんな日々幸せを感じます。
	女性	家族、親戚、友人たちに囲まれて生きていけること
60 歳代	男性	仲間とお酒を飲んでいる時
	男性	仕事が安定している
	女性	健康であること
	女性	自宅近くに娘家族が住んでいるので、娘夫婦、孫たちとのふれあいが出来ること。孫たちの成長を見ることが出来ること。
	男性	人との付き合い
	女性	好きなことをしている時
	女性	自由に好きなことが出来るから
	男性	今、家族が健康に生活出来ていることに幸せを感じている
	女性	晴れた日に海沿いをドライブすること。いつまでも自然を大切にしていきたい。
	男性	大阪からIターンして良かったと思っています。
70 歳代	男性	毎日お酒が飲めることです
	男性	母親、妻の笑顔
	女性	田舎に住めていて良い
	男性	グラウンドゴルフ仲間とプレーすること
	男性	健康で規則正しい生活が出来、家族円満であること
	女性	青々とした山や自然に囲まれていること
	-	子どもたちが伸び伸びと一人前に育ったことに感謝している
	女性	何かある度、子どもたちが一丸となって協力してくれること
	女性	安定した生活が出来ていること。病気も無く親子が仲良くしていること。
	女性	高齢者になり思い通りには出来ないが、病院を受診してなんとか体を保ちつつポチポチ楽しみながら生活出来ることに満足です
80 歳以上	女性	気の合う仲間とグラウンドゴルフ、食事会とお茶タイムしている時がとても癒されます。
	女性	一日の終わりに家族が揃い、笑って食事が出来た時。「幸せ」に感謝です。
	女性	仲間と楽しく過ごせること。健康は「宝」であるので、健康であること。
	男性	自然が豊かである
	男性	家族みんな健康であること
	女性	自然が豊かで暖かいこと
	女性	家族と一緒に居ること
	男性	孫や子どもたち、友だちと会う時
女性	健康で長寿を願い、子や孫の健やかな成長を願いながら楽しい人生を送りたいです。	
女性	空気がきれいなこと	



【日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じる事（居住地：笠利 その1）】

年代	性別	「幸せ」または「満足」に感じる事
10 歳代	男性	コロナの感染者が少しずつ減っていること
	男性	汚いところが少ない
	男性	家族と過ごせること
	男性	施設を利用する際にあまり人がいないこと
	女性	きれいな景色を見た時。(海、夕日、星、月等)美味しい物を食べた時。心から笑っている時。大好きな人と一緒にいる時。
	男性	人が少ないところ
	男性	豊かな自然に直接触れることが出来ることと、地域間のコミュニティの強さと協力を感ずる。
	女性	人が優しい。自然がいっぱい。
20 歳代	女性	世界自然遺産に登録されたこと。奄美の方が街や自然をきれいにしようと、掃除やゴミ拾い等環境整備に力を入れている。
	女性	毎日病気になることも無く平穏に暮らしていること
	女性	人と人との繋がりが有り、孤独な思いをしないことに「幸せ」を感じます。
	女性	海がきれい。自然豊かで地元の人たちが奄美を大事にしている気持ちが伝わってくる。
	男性	生きていること
30 歳代	女性	きれいな空、海等の自然に触れている時。祖父母や小さい子どもたちと話をしている時。家族との時間。
	女性	普通であること
	女性	海のきれいさ
	女性	子どもが4人いますが、地域の方、同じ主婦の方などみんなが子どもを見て育ててくれる。子どもの成長を喜んでくれる。
	女性	出勤時にきれいな海を見ながら行ける時や、子どもたちと海で遊んだり、散歩をする時も幸せを感じる。
40 歳代	女性	自然に癒される時
	女性	島の自然、食べ物、人、気候、文化
	女性	空気、海がきれいなこと。食べ物が美味しい。
	女性	海や自然に癒される
	女性	自然豊かな島なので景色がとてきれいで癒されること
	女性	きれいすぎる海を毎日見られること
	女性	自然豊かなところ
	女性	海を眺める時や鳥の鳴き声、カメを見かけた時
50 歳代	女性	奄美諸島はゴルフ場などのスポーツ施設が少ないため、沖縄に比べると海がきれいなこと。
	女性	テレビを見ている時
	女性	奄美の自然。気候が良く過ごしやすい。
	女性	勤務内容、待遇は別として仕事があること
	男性	健康なこと
	男性	四季折々の自然の風景を感じている時
	男性	自然景観。文化を守れていること。
	男性	家族円満なこと
	女性	強い不安や心配事がなく穏やかに過ごせている時。島の自然(風景や鳥の声、動植物など)に触れる時。
	女性	朝日が見れて、夕陽が見れる。海があり、星が見れて自然を感じることが出来る。
	女性	自然が豊かなこと
	男性	のんびりしているところ
	女性	ウォーキング中に感じる季節の変化
	女性	夫婦共に持病持ちですが、お互いを労わりつつ生活出来ていること
	女性	家から夕日を見たりすると幸せを感じます
-	現時点で両親が近くにいる、健康で元気に暮らしていることが幸せ	
男性	家族が心身共に健康である	
60 歳代	女性	普通に暮らせることが幸せです。
	女性	人間の生きる意味を知っていること。その目的に向かって生活出来ていることに喜びと幸せを感じる。
	男性	孫がいること。お酒を飲めること。
	女性	身近に自然がいっぱいあること
	-	コップ1杯お酒を飲む時(夜)
	女性	大自然の中で生きているという実感を感じています。子どもたち、孫たちがいきいきと生活しているので満足しています。
	女性	自然がいっぱいあること。都会では体験出来ないことがたくさんあるので奄美は良い
	-	家族、孫が近くに住んでおり、皆が健やかなこと
	男性	仕事を通じて島に貢献出来ていると感じる時
	女性	気軽に声かけられ年上下に関係なく接することが満足に思う。
	女性	元気で仕事が出来ると
女性	自然に囲まれ、早朝鳥やさざ波の音で目覚めることにとても幸せを感じています。	
男性	母の介護を兼ねて定年後移住したが、友達が助けてくれる。やりたかった農業がきつけどやれている。母が食事を作れるようになった。	

【日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じる事（居住地：笠利 その2）】

年代	性別	「幸せ」または「満足」に感じる事
60 歳代	男性	自給自足の生活が出来る
	女性	姉妹、息子、孫たちが近くにいること。夫も病気をせずに過ごせていること。
70 歳代	男性	健康なこと
	女性	ゆったりとした気持ちで日常生活を送れている。(健康であれば良い)
	男性	平和な日々
	女性	海、空、空気がきれい
	男性	安心安全で日々過ごせていて満足です
	女性	友達とおしゃべりすることです
	-	自然豊かである
	男性	島の食材を口に出来る。景色が良い。
	女性	家族が健康であること
	-	毎日仕事が出来ていること
	女性	夫婦で穏やかに年齢を重ね暮らせていること
	-	子や孫たちといつでも会うことが出来る
	女性	友だちと集まってお茶ができること
	女性	孫がたまに来てくれること
80 歳以上	男性	近くに自然(海・山・川)があること。集落の絆が強い。
	女性	町内の人に顔見知りが多く、会話が楽しく出来ること
	女性	小さな畑に好きな植物を植えて収穫する喜び
	女性	自分の足で歩けること。対話が出来ること。友人・知人に会えること。
	女性	現在どうにか頑張って暮らせていることに幸せを感じる。
	男性	交通が良い
	女性	公民館講座が充実していること。ボランティア活動が出来ること。親戚・友人が多いこと。
	女性	美味しいご飯が食べれて何事もなく一日を終える時
	男性	毎日が楽しいです
	女性	老後の楽しみで花をたくさん育てており、笑顔で元気に過ごしています
-	病院等親切に接してくれるスタッフの方々は本当に有難いです。	
女性	独り身なので、少ないが親戚が近くにいるので助かります。	
-	幸せ、満足に感じています。	

【日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じる事（居住地：不明）】

年代	性別	「幸せ」または「満足」に感じる事
10 歳代	男性	家族という時
60 歳代	女性	心穏やかに生活出来ること
70 歳代	-	子育てが終わり、夫婦で毎日楽しく過ごせること。自分の趣味を楽しめること。
	女性	主人と24時間一緒にいること(畑や運動等)
80 歳以上	-	夫婦仲良く暮らすこと
	男性	普通の生活が出来ていて、子ども達が島に住んでいるので幸せです。
-	-	自然が豊富
-	-	都会と違って災害が無い

## ② 「幸せ」や「満足」に感じることにに関するテキストマイニングによる分析結果

- ・テキストマイニングとは、通常の文章からなるデータを単語や文節で区切り、それらの出現の頻度や共出現の相関、出現傾向などを分析することで有用な情報を取り出す分析方法。
- ・ワードクラウドは、スコア※1が高い言葉を選び出し、その値に応じた大きさと色で図示したものである。名詞は青色、動詞は赤色、形容詞は緑色となっており、共起回数は、文章中に出現する単語で、隣接して出現する回数が多い組み合わせを上位から表にして示している。

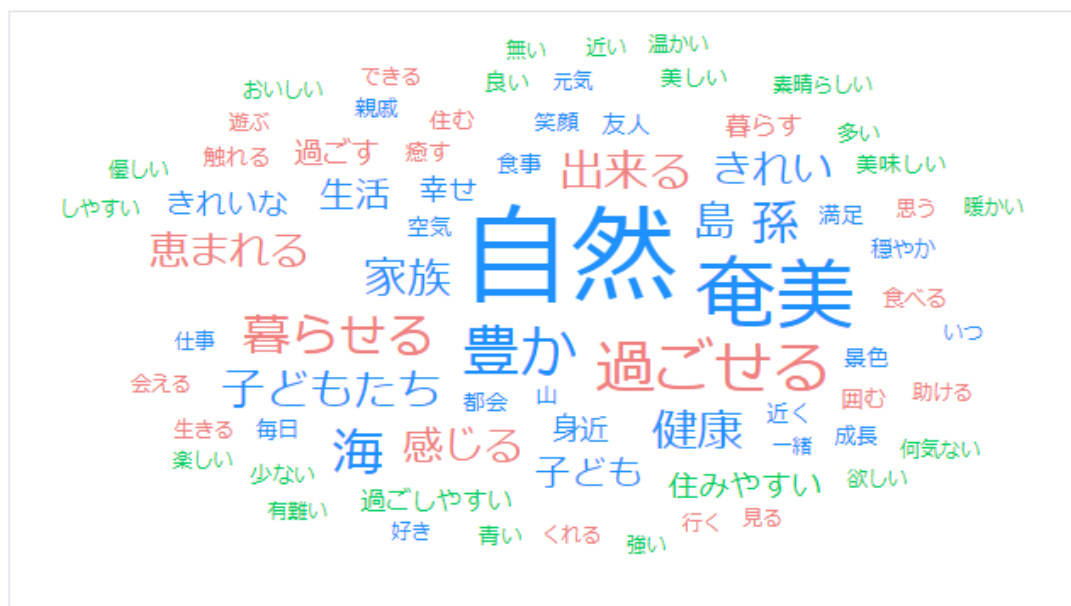
日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることについて、今回調査（令和3年度）では、「自然」や「奄美」、「豊か」、「過ごせる」、「暮らせる」等の単語の出現回数が多くなっており、過去の調査結果をみてもほぼ同様の単語の出現回数が増えている。

また、共起回数で見ると、「自然 豊か」が最も多く、次いで「出来る 生活」、「幸せ 感じる」、「海 自然」、「きれい 海」、「健康 家族」等の順となっている。

さらに、居住地別にみると、名瀬と笠利では全体とほぼ同様の傾向がみられる一方で、住用では、「採る」、「グラウンドゴルフ」、「iターン」、「動植物」等の特徴的な単語が挙げられている。

### 【日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることのワードクラウド（共起回数 上位）】

#### ○令和3年度



	単語1	単語2	共起回数
1位	自然	豊か	43
2位	出来る	生活	31
3位	幸せ	感じる	24
4位	海	自然	21
5位	きれい	海	17
6位	健康	家族	16
7位	奄美	自然	15

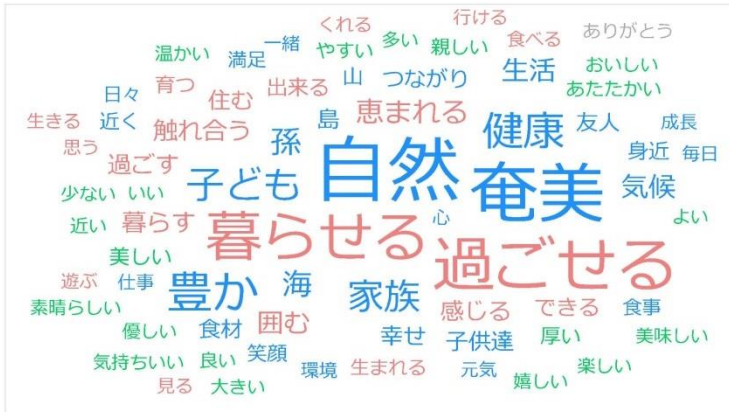
※1) スコア：文章の中でどれだけ特徴的かを点数化したもの。通常は単語の出現回数が多いほどスコアが高くなるが、「言う」や「思う」等、どのような種類の文章にも現れる単語についてはスコアが低めになる。

ツール：ユーザーローカル テキストマイニングツール（<http://textmining.userlocal.jp/>）



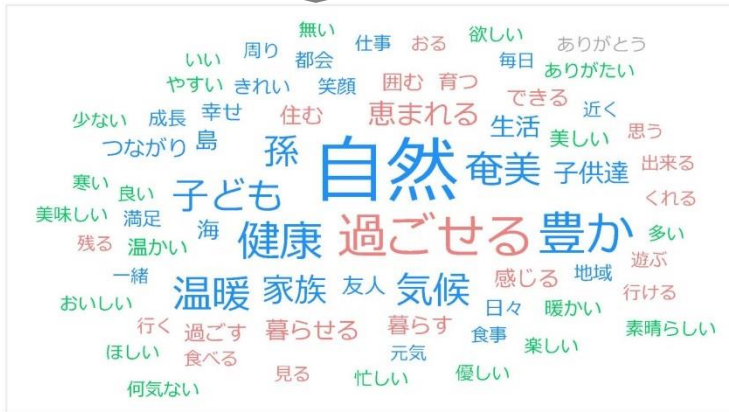
<参考：日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることのワードクラウド（経年比較）>

○平成 28 年度



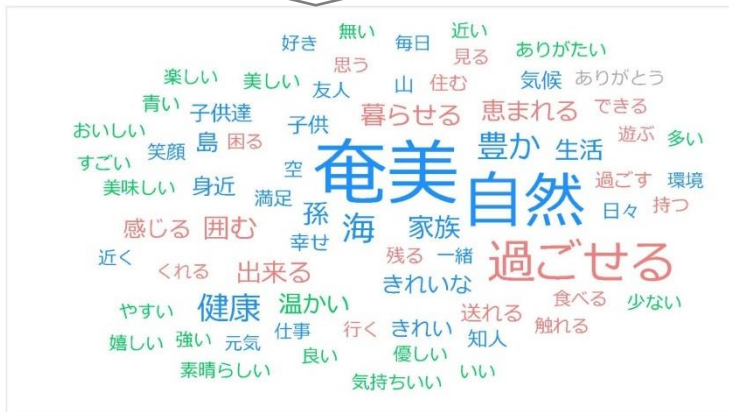
	単語1	単語2	共起回数
1位	自然	豊か	43
2位	できる	生活	31
3位	幸せ	感じる	28
4位	健康	家族	19
	山	海	19
5位	海	自然	17
	家族	過ごせる	17
6位	出来る	生活	16
7位	子ども	孫	14

○平成 29 年度



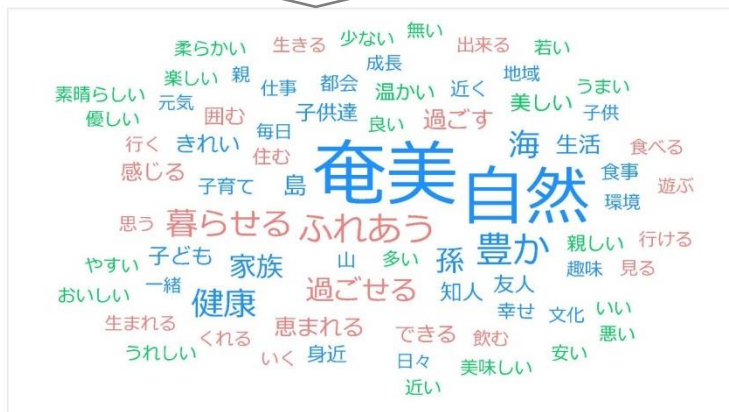
	単語1	単語2	共起回数
1位	自然	豊か	41
2位	健康	家族	21
3位	できる	生活	20
4位	気候	温暖	18
5位	幸せ	感じる	17
6位	子ども	成長	13
	子ども	孫	13
7位	健康	生活	12
	家族	幸せ	12

○平成 30 年度



	単語1	単語2	共起回数
1位	自然	豊か	26
	出来る	生活	26
2位	健康	家族	20
3位	山	海	17
4位	幸せ	感じる	15
5位	海	自然	13
6位	海	空	12
7位	きれいな	海	10
	きれいな	海	10
	感じる	自然	10

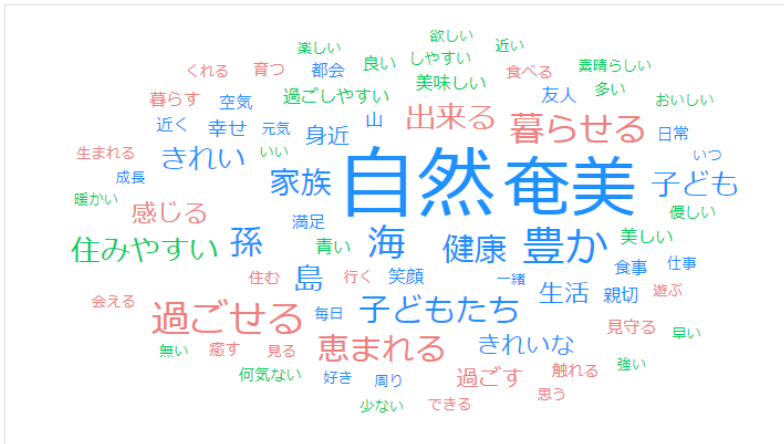
○令和元年度



	単語1	単語2	共起回数
1位	自然	豊か	28
2位	できる	生活	22
3位	幸せ	感じる	14
4位	健康	家族	13
5位	奄美	自然	11
6位	きれいな	海	9
	家族	過ごす	9
	山	海	9
7位	自然	身近	8
	海	自然	8
	家族	生活	8
	できる	健康	8
	友人	知人	8

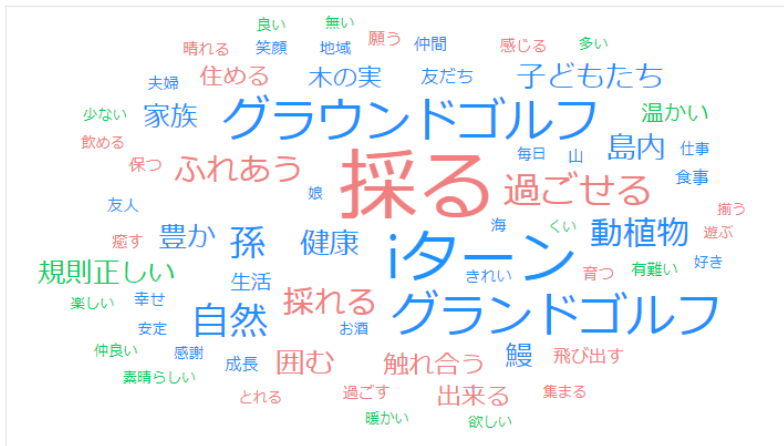
【居住地別にみた日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることのワードクラウド】

○居住地：名瀬



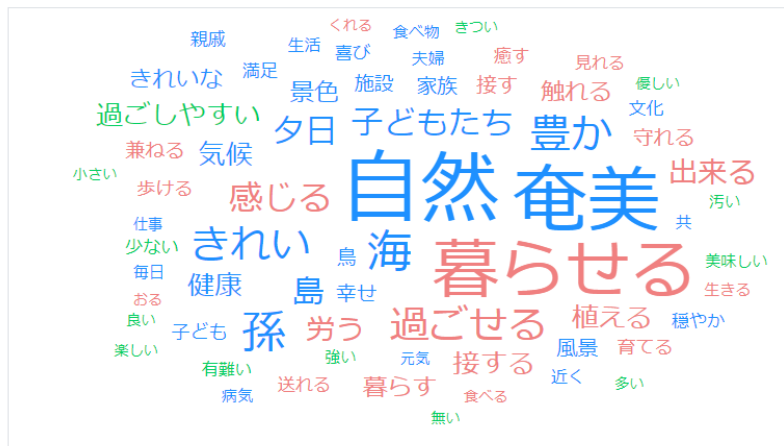
	単語1	単語2	共起回数
1位	自然	豊か	33
2位	出来る	生活	19
3位	海	自然	17
4位	幸せ	感じる	13
5位	美味しい	食べる	12

○居住地：住用



	単語1	単語2	共起回数
1位	出来る	生活	7
2位	出来る	家族	4
	自然	豊か	4
	健康	家族	4
	幸せ	感じる	4

○居住地：笠利



	単語1	単語2	共起回数
1位	幸せ	感じる	7
2位	きれいな	海	6
	自然	豊か	6
4位	出来る	感じる	4
	海	自然	4

## 2) 日々の生活で「不幸」または「不満」に感じること

### ① 記述回答結果

日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることについての記述回答結果を居住地別、年代別にみると、以下のとおりとなっている。

#### 【日々の生活で「不幸」または「不満」に感じること（居住地：名瀬 その1）】

年代	性別	「不幸」または「不満」に感じること
10 歳代	男性	台風などで船が止まるのが不満です
	女性	病院が少ない。眼科は多いが耳鼻科が1件しか無い。シーズンになると受診したくても患者が多くて断られてしまう。
	男性	世界自然遺産に登録され、心無い観光客が増えた。タバコのポイ捨て、海でのゴミの置き去り。止めて欲しい。
	女性	船が台風などで止まって、食料が数日入ってこないこと
	女性	自分の就きたい仕事が無い
	男性	ご飯を自分で作らないといけない
	女性	医療の遅れ
	男性	若い人が楽しめる場所がとても少ない。教育のレベルが低く、他県の学校と比べると見劣りしている。
	男性	台風ですぐ品物がなくなる。ショッピングセンターが無い。パチンコ屋さんばかり多くて、子どもの遊ぶところ、施設、遊具がない。(バスケットボールやスケートボード場など)
	女性	好きな事が何日も出来ない時。思うようにいかない時。
20 歳代	男性	これから生活していくには若い人を呼ぶために仕事、医療、子どもの教育の充実が必要。
	男性	仕事などで理不尽なことがあった時
	女性	島ならではの人の噂話や悪口等
	女性	離島なので台風の時など品物が無い時に生活の不便さを感じることは不満だと思う。
	女性	内地へ行くのにお金がすごくかかる。船の欠航で物資が途絶える。島外で子どもに体験させたいことがたくさんあるが出来ない。なぜかマンションが高い。
	女性	台風の時、船が止まって食品が入ってこない。遊ぶところが少ない。
	男性	組織の体制が古すぎる。(お役所仕事)物が無い、少ない。
	女性	コンビニが少し遠い。自宅と現在一番近いコンビニの間にもう一軒欲しい。
	女性	噂が広がるのが早いこと。ありもしない噂で不快を感じる。
	女性	天気次第で船が止まり物資が届かない時
	男性	仕事はしているが、お金が足りない。
	男性	自分が欲しいものが入荷されなかつたりなかつたりすること
	男性	子育てしやすい環境整備の強化。(出産祝い金の増額)
	女性	人間関係に過干渉な人がいる
	女性	事故が多いこと
	女性	イベント等が少ないこと
	男性	パチンコ店が新しく出来ることに対して不満を感じます。島に多すぎると思います。もっとお金や土地の使い道を考えて欲しいです。
	男性	給料が安い
	-	島全体で家賃が上がってきている
	男性	時給が低い
女性	職場の人手不足で体力が限界に近いです。	
女性	離島なので仕方ないことですが、医療機関の選択肢が無いに等しいと思う時がある。	
女性	雨の時、子どもの遊び場所が少ない	
女性	奄美の人は周りのことを良い意味でも悪い意味でも気にしすぎていると感じることが多いため、自分らしく過ごしづらい。	
女性	観光客がマスクを着用していない。佐大熊にスーパーが無い。子どもが遊ぶ場所が少ない。	
女性	子どもがボール遊びをする場所が少ないこと	
女性	家賃が高い。駐車場代が高い。空いている家が少ない。台風の際の食料品(野菜、牛乳など)が無くなる。	
30 歳代	男性	自衛隊の基地が出来た事。何の飛行機は分からないが夜間にエンジン音が聞こえるのはただただ不快。子どもを連れて遊びに行ける公園の整備をもっとしっかりして欲しい。俺のニュースもですが、こんな小さな島の事を市役所の方々が把握できていないという恥を晒すのはやめて欲しい。もっと島を知って欲しい。世界自然遺産登録もされたが外にばかり目を向けなくてもっと身内に目を向けて欲しい。その意味合いでもこのアンケートの実施はとても良いと思う。
	女性	子どもが遊べる環境が汚れていたり危険なものがあったりすること
	女性	働いても働いた分税金で持っていかれる。家族のために働いているのに意味が無い。
	男性	商業施設が無い。雨でも子どもを連れて行けるところがほぼ無い。チェーン店も無いし、だいたいのお店が日曜日は閉まっている。
	女性	買い物をする場所が少ない。家賃が高い。

※記載があった全てを原文のまま記載（以下も同様）

【日々の生活で「不幸」または「不満」に感じる事（居住地：名瀬 その2）】

年代	性別	「不幸」または「不満」に感じる事
30 歳代	女性	動物病院が充実していない。夜間診療や緊急時に対応している病院がないので、大切なペット(家族)が心配です。
	女性	強制的に参加させられる集落行事。集落に加入させられること。
	女性	物価と家賃が高い。出かけるところが無い。
	女性	仕事以外で島の人と関わることがない。育児で気を紛らわせているが、同世代の人と知り合いになる機会が無く辛い。イベントとかに行っても知り合い同士で集まっているので入っていきづらい。
	女性	医療ケアを受け入れてくれる事業所が無いこと
	男性	ゴミのポイ捨てが多い
	女性	高度医療、治療を受けられないところ。必要ならば島外へ行かなければならない。医療事務のレベルが低い。勉強不足だと感じる。
	男性	全体的に所得が低いこと。きれいな公園が少ない。島外からは人は来ないで欲しい。
	女性	船が来られなくなると牛乳が品薄になってしまうこと
	女性	文化に触れる機会が少ない。インターネットが普及して買い物には不便を感じないが、送料が高すぎて利用しづらいこと。子どもの教育環境の不足。
	女性	自分からアンテナを張って情報を得なければならぬこと。情報が少ない。子どもたちに島外に行けば仕事がたくさんある事を知ってもらいたい。
	女性	収入面で、ちょっと少ないなど家計簿をつける時間。プチプラの洋服屋さんが近くに無い。車がなかなか道を譲ってくれない時。
	女性	子育てに対しての協力が少ない。旦那の帰りが遅い為、子育てに協力してもらえない。
	男性	医療や資格を取る際に島外に出なければいけないことも多く、旅費・宿泊費が多くかかる時。仕事も余分に休みを取らなければいけない。子どものイベントが少なく、連れて行けるところが少ない。登録販売士等の資格を島でも取れたらと思います。職種等を知れる機会がもっとあると嬉しい。
	女性	イライラして会話してくる人
	女性	医療や福祉の面で選択肢が無いと感じる
	女性	今まで感じたことはない
	男性	運賃が高い
	男性	台風等災害時に物資が不足する点。子育て支援施設が少なく、利用しにくい。
	男性	地元産の食材が多いので普段食に困ることはないが、船が欠航した時にはさすがに困る。医療体制の拡充をして欲しい。
	女性	船が止まるとスーパーの品物がすぐに無くなること。医療機関が少ないこと。
	男性	行政のサービス。街づくりの進め方に不満。
	女性	賃金がまだ低い
	男性	島外の病院(鹿大病院等)に行く時に、旅費がかかる。島内で対応出来る病院が少ない。
	女性	病院が少ない。イベントが少ない。
	男性	仕事が少ない。
	-	ショッピング出来るところが少ない
	女性	交通の便が良くないので、本土の大会に出場する時にお金がかかること
	女性	近所にある小さな公園をきれいに整備して欲しい。学校や保育施設の老朽化についても対策を考えて欲しい。
	女性	子どもが遊べる場所が少ない。(室内)島外にいる島出身の人も離島割引が使えると良いと思う。
	男性	遊ぶ場所が少ない
	男性	離島なので仕方がないことですが、やはり色々な面において、特に医療や福祉の選択肢が少ないと感じます。
	男性	パチンコ以外の娯楽施設が少ない
	女性	子ども達を遊ばせる室内の施設がない。晴れすぎると日差しが強く、雨が多くて外遊びができない。自衛隊の家族や転勤族の家庭が増え、子どもの数が増えています。どうか子どもの為の施設を増やして欲しいです。公園は小中学生が野球等をしていて、5歳以下の子どもを遊ばせる場所がありません。
	男性	家賃が高く住む所も少ないし、給料が安い。
	女性	災害、コロナなど自分ではどうしようもないこと。コロナによる制限でストレスがあること。
	女性	離島のためコスト(送料)が高い。時給が低いこと。
	男性	大規模商業施設等がない為、休日に行く所が無く、家にいることが多い。若者が少ない。
	男性	家が古い。交通機関が不便。路上駐車が多い。屋内型の施設がない。服、雑貨屋さんなどの有名な店舗が欲しい。
	男性	単身赴任、転勤
女性	奄美は雨が降った時に観光するところが少ないので、もしあれば観光客にもアピール出来て良いと思います。	
男性	路上駐車のマナーの悪さ。子育て支援施設の少なさ。	
女性	精神障害のある方を地域にもっと受け入れていたら良いと思います。	
女性	コロナ禍で旅行(島外)に気軽に行けなくなった。雨の日に過ごせる施設が少ない、一か所で行くものを買う施設がない。観光受け入れ体制が不十分だと感じる。	
女性	給与が安く収入が低いのだが、陸続きではないので島外に出る時にお金がかかる。医療も選べない。進学も大変。大きな夢を持ってそれは夢のまた夢のような気分になる。	
女性	名瀬の中心部にだけお店やスーパーが集中していること	
男性	買い物が不便。(台風の時に困る。)医療機関が少なくて選べない。大きな病気をした時の不安がある。	



【日々の生活で「不幸」または「不満」に感じる事（居住地：名瀬 その3）】

年代	性別	「不幸」または「不満」に感じる事
40 歳代	女性	家賃や物価が高い。子どもが増え、パートからフルタイムに勤務体制を変更しても税金等が引かれ手取りはそんなに変わらない。行政は低所得層ばかり心配し、低所得ではないギリギリで生活している人や多子世帯への心配もして欲しい。
	女性	医療機関の少なさ。最低賃金の低さ。
	女性	人間の欲のために生き物や自然が破壊されること
	男性	離婚等のひとり親世帯の子どもは幸せな生活を送れているのだろうか。社会全体で支える体制が必要。
	男性	すぐ都会に行けないこと
	男性	本土に比べ所得が低い。仕事も少ない。
	男性	島外に出る際の割引がもう少しあったら良い。
	男性	なーなーで済ませるところ。交通等マナーが悪いところ。
	女性	給料が少ない。休みが少ないこと。
	男性	給与等が少ない割に物価や家賃が高い様に感じます。
	男性	コロナの影響で自由に家族の元に帰れない
	女性	子どもたちの遊ぶ場所が少ない
	女性	地元の方の意識の低さ
	男性	子どもたちや家族で過ごせる遊具のある施設が少ない
	女性	選択肢・情報量の少なさ
	男性	貧困を感じる時
	女性	緊急時診療の(急患)診察代が高すぎる事(県立病院)
	女性	特に目標も無く、ダラダラ生活していること
	女性	主人とうまくいっておらず、生活面・子どもの学習面が上手くいっていません。離婚ではなく別居だけだとひとり親手当も出さず苦労している。主人は収入があるからいいが。
	女性	思いやりのない言動を受けた時
	男性	常識のない人が多い。(働かない人、酔っ払い)
	男性	住みやすいが住みにくさも感じる
	男性	仕事が大変。子どもと出かけられる場所が少ない。特に今はコロナ禍なので島外には出られないので少なく感じる。
	女性	交通マナーが悪い。(止まらない、路駐が多い)ゴミステーションにネットなど無い所が多く、カラスに荒らされたりして汚い。古く長いトンネル等はラジオの電波が入らないので交通情報が聞けない。(災害時を想定したら不安)ラジオの電波が入らないところが多い。
	男性	仕事に不満がある
	女性	無駄な土地開発。税金の無駄遣い。
	男性	選択肢が少ないこと
	男性	親戚や知人が多いので、プライバシーが守られていない。噂がすぐ広がる。
	女性	子どもが遊べる公園、施設が少なすぎる。習い事、多様性の選択肢が無い。ネットでの買い物の送料が高い。高収入の仕事が無い。
	男性	高齢化が著しいところ
	女性	台風や強風で船や飛行機等が欠航になること。(品薄になる)
	女性	主人が体調悪く働けない日が多いが母子家庭と違って保障もなく生活が大変。
	-	ネットで買い物をする送料が高い。飛行機代が高い。店も無いし、個人営業の店はすぐ休むのでいつも閉店している。物資が高い割に給料が安い。土地が高い。内地の方がもっと良い家が建つ。土地が高いのは問題です。奄美の給料じゃ買えません。もっと市は考えるべきです。
	女性	船の欠航でスーパーから品物が消えること。病院、歯科、皮膚科など診療科目が限られていること。島の人が不親切で不愛想な態度の時。
	男性	ゴキブリ、ヤモリが多い
	女性	ワークライフバランスが取れずいつもへとへとになっている。
	男性	旅行に行くのに時間とお金がかかる。子ども達が遊べる施設が少ないこと。
	男性	仕事が無い
	女性	船が止まって品物が無くなること。ひとり親で1日の時間が足りなさ過ぎて寝る時間が無いこと。
	女性	コロナワクチン接種を強制的に求められた時。仕事上で強制的に研修参加を求められる時。
男性	ギャンブルに負けた時	
女性	人の噂話。情報がすぐ広がる。	
女性	年齢的に働くところが減ってきているが、島外から人材を呼ぼうとしているように感じる事	
男性	医療の充実をお願いします	
男性	独りであること。無視されること。孤独。排除の空気。	
50 歳代	女性	リハビリ施設をもっと充実させて欲しい。ペットを飼う人のマナーが悪い。(犬の鳴き声に困っている)野生の動植物の罠・盗掘への対処をして欲しい。
	男性	本屋に行っても読む本がないこと
	男性	フェリーが止まると食材が来なくなる事
	女性	離島ならではの不便さを感じる時。低賃金なのに何かと高い。
	女性	医療が充実していない。子育てに十分な福祉支援が整っていない。

【日々の生活で「不幸」または「不満」に感じる事（居住地：名瀬 その4）】

年代	性別	「不幸」または「不満」に感じる事
50 歳代	女性	格差社会。安定した就職先が全く無い。就職先が見つからない。(面接に行っても 90%不採用)低賃金。(公務員と医療関係者以外)離島で子どもたちとバラバラに生活しているので会えない。
	女性	道や公園が草だらけです。ハブ対策といわれているが、世界自然遺産に登録された今は町全体の環境を整えるべき。年齢問わず(特に高齢者)交通ルールが悪いのに、結の精神ばかり強調して欲しくない。給料が安いのに物価が高い。子どもが安心して遊べない。子育てもしにくいと思う。家賃が高すぎて生活が大変です。自然もだけど、人を大切に出来るのが奄美の良い所なのではないでしょうか。
	-	全体的に所得が低い
	女性	大病後、普通に生きられていない。身体障害を持ちながら仕事をしたい人の働ける場所等障害への理解が特に離島は無いような気がする。チャンスが無い。生活保護を受ける方法しかないのですか？
	男性	無駄な公共工事が多すぎる。補助金だからといって次から次へとムダを考えている。このアンケートは何のためにやっているのですか？わざわざ郵送料を使わなくても市役所の窓口で紙を置いておき取ってもらっても出来ると思う。外部委託するなら、市役所の職員は何の為にいるのですか？
	女性	風が強いだけで船が来なくなる。遊びに行ける娯楽施設が少ない。
	-	人との距離感
	女性	老後の生活が心配
	男性	定期的な公園・道路の清掃をして欲しい。子どもたちが安心して遊べる場所を作ってください。
	女性	親の介護、家族が病気になった時の不安
	男性	台風時に船が止まり、物資が不足すること。停電が長引くこと。歩行者や自転車が多いのに街灯が少ないこと。
	女性	人と人との距離が近い。賃金が安すぎて生活出来ない。子どもだけでなく単身者にも手厚い支援が欲しい。
	女性	既存の価値観から逸脱するのが困難な環境
	女性	隣の家の人がよく嫌がらせをするが、その方を見ると(その方が)「不幸だな」と思う。
	女性	物価が高い
	女性	収入が少ないのでその点では不満に思う
	女性	台風が来た時に食料品が売っていないこと
	男性	島外への移動が大変。笠利の方へ行く買い物が不自由。
	女性	台風が来ると船が止まり物資が不足する。奄美で産業を活性化して欲しい。一定額でどこでも行けるミニバスがあればいいと思う。奄美市中心にバスターミナルを作って欲しい。
	女性	賃金が低く生活が困難なので、バイトまでやらないと生活が出来ない現状
	男性	家賃が高い上に税金も高い。しかし給料は安い。
	女性	大規模災害時の島外脱出を含めた避難への不安。(飛行機や船の交通麻痺等)
	女性	医療機関の不十分さ
	女性	仕事がきつい。税金が高い。
	男性	時間にルーズ。失敗やミスなど無責任なところが多く見られ、謝らない人(男性)が多い。
	男性	給料が安すぎる。生活保護費が全国的に見て低すぎる。物価が高すぎる。
	女性	平等ではないと思う時もある。ワクチンを接種したのに家族がタオルをもらえなかった。条件を統一することが一番公平です。観光客のマナーの悪さが気になる。昔みたいにアーケードに活気を取り戻すようにして欲しい。
	女性	内地にある有名な飲食店や洋品店が少ない
	男性	医療機関が少ない。もっと本土や県外の店舗を誘致して競争させるべき。
	女性	身体の老化を感じる
	女性	子どもや孫にすぐ会えない
	女性	本土への交通費がもっと安いと思う。
	女性	やっぱりコロナ禍のこと。コロナの影響で1年前から旦那の給料が20%減となり少し不満を感じる。
	女性	年を取ってからの仕事の中々ない事
	女性	身内に不幸や悲しい事があった時
	女性	天候(台風)で食料が届かないこと
	女性	島人の閉鎖的な噂話が嫌です。若者が住みにくい。(家賃が高い)都会との買い物(店舗)の差がある。道路や街路樹が整備されていない。島外の友人を呼ぶと街中の汚さが気になる。仕事が少ない。
	女性	島の中で何か解決しなければならぬ時に、離島なので選択肢が少ないこと
	男性	医療設備が不十分なので、何かあると内地に行かなくてはならないところ
	女性	台風や災害時に本土との交通がストップしてしまうこと。本土と陸続きではないこと。
女性	フェリーが天候不良で欠航したら食料不足になる。医療体制が不十分。コンビニがファミマしか無い。	
女性	島外で子どもが働いていて頻りに会えない。本土と陸続きではないので、車や電車等で気軽に移動出来ない。	
男性	街中にゴミが多い。犬猫の糞が多い。カラスが多くゴミ被害が見られる。	
女性	人の噂話、陰口	
女性	予想外のことが起きて将来の不安を感じる事。自分自身の心身のバランスが少し崩れて調子が出ない時がある。他人との関わりでストレスを感じる時がある。家族との接し方で意思疎通がうまく出来ない時がある。(主人の転勤で奄美市に移住して半年経過したところ)	
女性	賃金が安く、将来に不安を感じる	
男性	台風時に品薄になったり、物価が高いこと	
男性	島の中だけを考えることが多過ぎること	

【日々の生活で「不幸」または「不満」に感じる事（居住地：名瀬 その5）】

年代	性別	「不幸」または「不満」に感じる事
50 歳代	女性	親のことで周りから色々言われること
	女性	魚釣りの講座など、奄美では当たり前だと思われることの講座があると面白いと思います。名瀬市中心地に無料の駐車場ができる故名瀬市街地を散歩出来ると思う。
	女性	学校でいじめがあり、若い生命が断たれること。奄美はゴミが多い。ゴミ出しのマナーがなっていない。横断歩道で待っていても車は止まってくれないし、トンネル内での点灯(相手方の車のライトが点いていない)が 100% ない。
	女性	家族が病気になる入院している時
	女性	自分がしたいことに制限がかかる時
	男性	島全体が潤っていない。仕事が無い。
	女性	島外との往来が不便
	女性	医療機関が少ない。パートの仕事が少ない。
	男性	医療機関が不足している。選択肢が無い。台風時の船便欠航が無くなれば最高だと思う。
	男性	運転マナー(車やバイク)が悪いこと。ゴミのポイ捨てがあること。
60 歳代	男性	部活動等の対外試合がしにくい
	女性	給料が減りゆとりがない。母子家庭の援助に差がある。
	男性	物価が高い
	女性	不安や悩み事で前が見えず先に進めない(動きが取れない)時は何をやっても不幸を感じる。
	女性	仕事についてですが、同じ業務内容なのに給与や勤務時間に差があるので決め方に不満を感じます。
	女性	物価が高い。街灯が少なく暗い。デパートも無く、買い物ワンパターンになる。バスが不便。台風で食料が底をつかないようにしたいがストックする設備が無い。
	女性	世界自然遺産に登録されたのはいい事ですが、道路のゴミ、草が伸び放題の植え込み等すごく不満です。どうかありませんか？各自がゴミを持ち帰ってくださるといいですね。
	男性	世界自然遺産に登録されたが、見えない場所や目立たない地域にはゴミ等が散乱している。
	女性	身体障害者や高齢者に対する福祉は人並み(他の市町村と比べて)だと思うが、30 歳後半から 45 歳くらいまでの就職浪人に対する政策、支援、環境が無く、年老いた親が残される子どもたちの将来に不安を感じながら終活をしていること。
	男性	税金が高すぎる。芸術文化を大切に作る気風が低い。
	女性	高齢者に対する福祉支援が不十分。住民の考えを受け入れた方が良い。
	男性	産業の活性化が図れていない。生活水準が低下している。
	女性	この先仕事があるのが不安です。(土木)
	女性	60 代では仕事が出来ない。看護師の仕事をしていてが求人は他の職種しかなく、自分に適した仕事が出来ない。元々は横浜で看護学校卒業後県立病院で働き、その後横浜でも看護師の仕事をしていてが介護(義母)で帰ってきた。介護が終わったら早々に横浜へ行くと思う。
	-	仕事が少ない。何歳まで働けばいいのかと悩む。(生きていくために)
	男性	医療体制(救急)が十分ではない
	男性	専門店が少ない(趣味)
	男性	まだまだ働けるが、高齢者の雇用があまり無い
	女性	人との付き合い方が難しい
	男性	内地との格差
	女性	コロナで大好きな旅行に行けない。子どもが離婚し小さい子どもを連れて帰ってきた。片親だけで孫が衰れに思う。それに年を取ったので本当はゆっくり過ごしたい。
	女性	離島の交通面が高齢者にとって不便
	男性	コロナ禍で島外(本土)の子ども等に会えないこと
	男性	大人のいじめがあるから子どものいじめも無くならない。選挙のしこり等小さい集落は無くならない。隣近所の迷惑等なんとも思わない託児所の対応。(送り迎えの車の迷惑駐車)良い人もいっぱいいるが、そうでない人もいっぱいいる。
	女性	日々の生活の中で不便・不満を感じる事はありますが、原因を考えるとどうしようもないと思えてくるのであまり考えないようにしています。60 歳になった頃、島外で 7~8 カ月生活する機会がありました。それまで島から出たことがなかったのもとても楽しかったです。住めるならまた住んでみたいと思えますが無理だと思えます。
	男性	国民健康保険や介護保険料が高く、年金から支払っているので生活がひっ迫しています。
	男性	定年後に介護保険等の税金増が負担となっていること
	男性	人材の育成、道徳の教育に力を入れて欲しい。職種に限らず人材不足を解消して欲しい。
	女性	緊急時の適切な避難場が無い。(災害時の対応等)
	男性	旧態依然の土建屋選挙は情けない。交通ルールを守らないこと。
男性	夜の仕事の日は一日ゆっくりできない	
女性	離島であることが少し大変だと思う	
男性	離島の為、食料品が滞る事が多い。(台風等)賃金が安い。	
女性	子どもたちが島にいないこと。福祉に関する政策が今一つ満足出来ない感じがある。	
女性	交通機関の不自由さ。バス待ちで 20 分立っていることが辛い。	
女性	定年退職したが、年金だけでは食べていけないのでどうしようか不安である。	
-	賃金が安い。物価が高い。	
男性	給与は安い物価が高い。家賃、駐車場代も高い。移住しづらい。教育・医療が不十分。	

【日々の生活で「不幸」または「不満」に感じる事（居住地：名瀬 その6）】

年代	性別	「不幸」または「不満」に感じる事	
60 歳代	女性	年金が少ないこと。諸々物価が高いこと。	
	女性	貯蓄がないので、将来年金だけで生活していけるのか心配しております。	
	女性	仕事の充実感が無い。伴侶に先立たれたこと。	
	女性	子どもたちのこれからを考えると怖い。生活にゆとりが欲しい。	
	男性	身近にある自然が自衛隊基地やコンクリート防波堤により壊されている	
	男性	コロナの影響で給料(時給)が下げられ、少ない年金から介護保険も引かれて大変です	
	女性	家賃が高い。低所得者に県・市営住宅を優先的に住まわせて欲しい。高所得者で住んでいる人が多いと思う。	
	女性	若い人の仕事が少ない。	
	女性	自分の病で大きな病院に行かないといけなのがストレス(離島ならではの高い旅費、メンタル、移動の制限等)	
	女性	老後が心配	
	男性	若者が島に残りにくいこと	
	女性	パチンコ店が出来たこと	
	女性	経済的に不安定な生活	
	-		近い将来の老後の事。年金ではやっていけないと思うので、市政に不満を感じる。ゆりかごから墓場まで。もっと福祉を充実させて欲しい。
	女性	知人に奄美移住を勧めたいが、賃金が安いから勧められない	
	女性	災害時(台風時)の食料不足。レジャー施設が無く、子どもと遊びに行く所が無い。	
	女性	山裾に住んでいるので、ヤスデが出る	
	女性	病院の医療のレベルの低さ。物価が高い。	
	女性	周りの年配者が生活の不安を持っているのを見た時。贅沢はしなくても健康で住居の心配無く暮らしたい。	
	女性	車の運転が出来ないのでバスの便が少なくて困っている	
	女性	何の楽しみもない	
	男性	仕事の賃金が安い	
	男性	仕事が少ないこと	
	女性	自然豊かなところなのに自衛隊に毎日脅かされて、何があるか不安です。子ども達の将来が心配です。	
	-		大きな病院での初診料 5000 円が不満
	男性	観光地が少ない	
	男性	外海離島であるが故に、島外に出るのに交通費がかかること	
	女性	ゴミのポイ捨て	
	女性	不満を口に出すだけで、「どうせ」とか言って変えようとする人が少ないこと。	
	女性	病気になった時。専門の医療機関が少なく、島外へ治療に行かなければならず経済的にも大変です。	
	男性	地元の人々のマナーが悪すぎる。自分のことが一番で公共の場所やスーパーのことを考えない人が多い。交通マナーも悪い。	
	男性	事業主の考え方が古い。若者が働いて稼げる雇用環境ではない。	
	男性	交通法規を守らず交通マナーが悪い人が多い。前後の車の速度に合わせた運転が出来ていない。法定速度より低速で走っている。	
男性	ハブがいること。(絶滅して欲しい)		
女性	これといって無いが、強いて言えば今自分の体の神経がやられていて自由に動かないことが不幸であり不満である		
女性	買い物等歩いていけないことが不満。車を利用しないと行けない。		
女性	経済格差		
男性	お米が少なくなること		
女性	新しい事業への挑戦等に対する支援体制が充実していたら、老若男女みんな楽しくなると思う		
70 歳代	女性	施設の入居が順番待ちであること	
	女性	医療機関が充実していない。小児喘息の専門家が必要です。幼児の遊べる遊具が少なく、雨が降ることが多い地域なのに屋内で遊べる場所が無い。	
	女性	年金が段々少なくなるのに家賃や物価は上がり、老後への貯蓄がなかなか出来ない。しかし子どもには頼りたくない。日々の生活が不安です。	
	女性	孫たちと会えないこと。(コロナ禍で行き来出来ない)	
	男性	高齢者は何かと不便を感じる	
	女性	自由が無い。(外出、買い物)	
	女性	福祉面にもっと力を入れて欲しい。	
	男性	年金が少ない。物価が高い。	
	女性	年金が少なく、介護保険、後期高齢者保険が高くて生活が苦しい	
	女性	台風が近づくと食料品等が無くなる。町の中に雑草が伸び放題の空き家が目立ちボロボロになっている。交通ルールが守られていない。	
	女性	介護認定を受けていない人が入居できる施設が無い。	
	男性	交通が天候に左右される	
	男性	台風の発生により船が欠航すること	
	女性	洗濯機が壊れているので子どもにコインランドリーに行ってもらっていることが困っていることです	
	女性	今住んでいるところ(佐大熊)の交通の便が悪いのと店が無いのが不満です	



【日々の生活で「不幸」または「不満」に感じる事（居住地：名瀬 その7）】

年代	性別	「不幸」または「不満」に感じる事
70 歳代	男性	収入が不足している
	男性	街が無い。山や海が無くなっている。
	男性	合併後の効果、否かの検証も必要であったと考える。
	女性	医療機関が予約優先ですぐに診てもらいたいののに3週間くらい待たされることがある。何とかならないのかな。
	女性	年金だけでは生活出来ないこと。70歳過ぎても働かざるを得ないこと。
	女性	金銭的にもう少し余裕が欲しい
	女性	現在の収入では欲しい物があっても買えない状態です。食べるだけで精一杯です。現在神経障害性疼痛の薬と週1回のリハビリ通院をしています。
	-	物価高である。年金不足で生活が成り立たない。(食事を抜くしかない)
	女性	観光客が来ることにに対して不安(コロナ流行に対して)
	女性	それぞれの考え方、捉え方次第だと思います
	男性	全て
	男性	ミサイル基地があること
	女性	船がすぐ止まること
	-	食べていくのにやっとなです。
	女性	良い病院が多くあって欲しい。島外に行かなくてもいいようになって欲しい。
	女性	娯楽施設が無い
	男性	年金生活でこれからの人生が不安。年を取って、これからも仕事があるだろうか。
	女性	医療に心配がある。診察が出来ない診療科目がある。
	女性	少子高齢化が進み、色々で大変です。のんびりと老後生活出来ると思っていましたが、現実には厳しいです。まだコロナ禍にあって先が見えないです。交通の便が悪い。経済面にも不安があります。
	-	台風で船が止まること。仕事がありません。
	-	島に帰っても若い人達の職場が無いこと。とにかく仕事がない。直通で目的地に行けるバスの便が無いので年よりは困る。平松で乗り換えになった。せめて1日3回でも里～平田の直通があればいいです。
	女性	公共交通の便が悪い。街中のゴミ吸い殻が目立つ。ゴミに関するマナーが悪い。
	-	年寄りのためバスの乗り降りに困っています。
	女性	病院の数が少ないような気がする
	女性	他の子ども達が都会に住んでいてなかなか会えない。
	男性	出費(教育費など)が鹿児島本土を中心に多い。この仕組みが変わらないと経済的な豊かさはなかなか実現しない。
	-	昔から変わらない、変わらない行政。変えるには何百日かかるでしょう。
	女性	コロナ禍が一日も早く収束して欲しい
	女性	船の欠航が数日続くと、手に入らない食品がある。自由に散歩が出来るようなコースがあると、人と人との出会いが増えると思う。
	女性	昔からの結の心はいつの間にか全てお金で解決するようになっている気がする。時代の流れとは言え辛い。私は死ぬまで結の心をもって生きていたい。
男性	台風時の停電。	
-	バス停にベンチが無いことです。高齢者は困っています。よろしくお願いします。	
80 歳以上	男性	コロナの感染を気にして家族とのコミュニケーションが取れない
	男性	不幸なことが多い
	女性	独りになった時
	男性	交通機関
	男性	台風等天気によって船便が欠航すること
	女性	運転免許がないので自由に行動出来ないのが不満
	-	旅行等で島外に出る際に離島故の不便を感じる
	女性	物価が高すぎる。道路の区分線が分からず車で走りにくい。危険を感じる事が多い。
	男性	税金が高いのがいつもいつも不満である。
	男性	夜のバスの本数が少ないこと
	女性	文化面があまり充実していないように思います。たまには文化講演などで刺激が欲しいです。
	女性	歩行困難になり自由に外出出来なくなったこと。仲の良かった友人が次々いなくなり寂しくなったこと。
	女性	映画等娯楽が無い
	女性	コロナの影響で1人でいる時
	男性	年を取ったせいか、コロナのせいか、家に遊びに来る人が少なくなった
	男性	物価や家賃が高い
	-	知人が一人ずつ亡くなったりして寂しくなります。
	男性	医療体制が以前とは変わり、鹿児島本土行きが多くなったことが不満です。島の住民が可哀そうだと思う。鹿児島島の病院に行った時に奄美から来ている人がたくさんいたのでびっくりした。運賃や医療費がたくさんかかって大変だと思う。
	女性	ゴミ捨てのマナーが悪いこと。医療機関が少ないこと。(専門医がない)
	女性	大企業が進出したことで、地元の商店が倒産または経営難になること
-	男性	本土との格差を感じる事
-	女性	町の中心に足湯などあれば良いと思う。

## 【日々の生活で「不幸」または「不満」に感じる事（居住地：住用）】

年代	性別	「不幸」または「不満」に感じる事
10 歳代	男性	医療設備が不十分である。眼科等の精密機械の導入を検討して欲しい。
	男性	観光客が来て、奄美が汚れているような気がする
	女性	大きなショッピングモールがなくて、他に比べたら遊ぶ場所がない。
20 歳代	男性	台風接近時に、水害があったりコンビニ・スーパーに品物が届かなくなったりすること
	女性	市営住宅の老朽化、風呂が古くて管理しにくい。蛇口が水漏れしている。
	男性	物流が悪い
	男性	コロナ禍で仕事が無い。給与が安い。
30 歳代	女性	台風での物流のストップ。特に奄美より他の離島など条件付き運行が多いような気がする。
	男性	児童・生徒の減少(住用地区)
	女性	車が無いと不便。狭い分、噂話がすぐ広まってしまう。本土と比べると医療機関の設備が整っていないので、本土に通わないといけないことがあるのですが、金銭面や仕事の調整等が大変。動物病院も重度な病気の治療は奄美では出来ないと言ったので、動物病院も整備されれば良いと思います。
	女性	ガス代が少し高く感じるどころ
	女性	税金が年々上がっていくこと
40 歳代	女性	仕事が思ったより少ないこと。(給料も少ない)
	女性	雨の日の子どもの遊び場所等があると良い。仕事ももっとあると良い。
	男性	住用の学校に対する予算の組み方に疑問がある。予算執行の関係上等理由はあるのですが、名瀬の学校との格差を感じます。住用では、はっきり言えば子育て・教育は困難です。この記載欄だけでは書ききれない。(インフラの未整備等)世界自然遺産にうつつを抜かしている場合ではない。課題は山済みである。
	男性	仕事量に対して、賃金が少なすぎるのでないかと思ってしまう。
	女性	干渉される時。疑り深い人と話す時。マウンティングされていると感じる時。
	女性	仕事が週休2日ではないこと
	男性	集落内の人の目、寛容性
50 歳代	男性	給料が少ない。物価が高い。
	男性	お金に余裕が無い。貯金が無い。
	女性	医療機関の医師へ。もっと高度な知識を持ってもらいたい。
	女性	仕事、人間関係が上手くいかなくて辛抱しなければいけない時
	女性	①犬の飼い方が未熟。昔の知識のままの人が多く、見ていて悲しいし、子どもたちや観光で訪れた人々等への危険を感じる。(予防接種をさせない、放し飼い、避妊・去勢をしていない、多頭飼育、劣悪な環境で放置…等を目にする) ②道路(歩道沿い)に雑草(外来種)が多く生えていて歩くのが怖い。除草作業が追いついていない。 ③若い人たちの働く場所が少ない。
	女性	奄美大島は自然がたくさんだが何か足りない。島民には島ならではの昭和初め頃の考え方のままの人がいると思う。奄美の人は島外の人に馬鹿にされないように頑張ってください。
	女性	道路が悪い。穴ぼこがたくさんある。事故の原因になると思う。
	女性	子どもや孫たちの将来に不安。(政治や気候等)個人的にはもっと貯蓄を増やしたい。島の経済が発展して欲しい。
	男性	離島なので飛行機や船の運賃が高い。沖縄並みの割引を設定して欲しい。
	男性	休日に遊びに行きたいと思う場所が少ない
	女性	自宅からスーパーが遠いこと
60 歳代	男性	交通機関が不満。病院や買い物に徒歩では行けないので整備して欲しい。
	男性	離島であること。生活の格差。
	女性	都会にいる子どもたちが将来奄美に帰ってくるか心配
	女性	設備が整った病院が少ない
	男性	知人・友人との別離
	女性	定年して帰ってきたら、空き家が多い事が寂しいです
70 歳代	-	今まで周りの人間関係には悩む(悩まされる)ことが多かったが不幸とは思わない。現在は人が入れ替わったのもあり、前向きでいられる。
	女性	先輩や後輩たちの意見を聞かず、自分の意見ばかりを押し通す中堅がいることです
	女性	病気になる時
	女性	88 歳になる兄の介護が身に沁みて辛いです。福祉の方も充実しているとは思いますが、年金だけではこれから先の兄のことや自分たちの老後が心配です。
	女性	重い病気になった時。家族の世話が出来なくなるし、迷惑をかけるし、心配をかけるから。
80 歳以上	男性	商店が無い。小銭の交換に困る。
	女性	少子高齢化が進んでいること
	男性	身体が思う様に動かない時
	女性	体が不自由で思う様に動けないこと

【日々の生活で「不幸」または「不満」に感じる事（居住地：笠利 その1）】

年代	性別	「不幸」または「不満」に感じる事
10 歳代	男性	コロナが収まってないことから色々な制限があること
	男性	暑い
	男性	父の死。最新の医療が受けられなかった。最新医療を受けられる施設が近くに無い。
	男性	学生の移動手段が少ないこと
	女性	ゲームをしている弟がうるさい時。親や先生に怒られた時。部活で上手くいかない時。コロナのせいで学校生活に制限かかかっていること。(行事、部活等)
	男性	教育の質
	男性	笠利方面の道路が整備されていない。通勤通学をする際、危ない！と思ったことが何度もある。もう少し考えて欲しい。
	女性	お店が少ない
	女性	コロナウィルス感染予防の為、マスクが大切な時期だが観光客のマスク着用が見られない。(島の人はマスク着用している)
20 歳代	男性	営業時間が短いお店が多いこと。特に薬局等に困っている。また、通信環境が悪い場所が多いこと。(圏外等)
	女性	遊べるところが少ないこと
	女性	知り合い、人との繋がりを大事にしている反面、変な噂が広まりやすい。
	女性	お店が少ない。道が1本道など限られていて不便を感じる事がある。(速度が遅い車が前にいる時)
	男性	携帯電話の電波が悪い
	女性	飲酒運転、大麻等、特にIターン者が島なら何でもやっていいと思っている人が多く感じます。大麻を吸引して立ちションしている人を見るとげんなりします。
	女性	島ならではの付き合い
30 歳代	女性	都会から島に移住してくる人の支援は充実しているのに、ずっと島に住んでいる人の為には何の保障も無いので、長く島に住んでいる人の事は何も考えていないと思う。
	女性	島の人同士の仲間意識が強く、疎外感がある。物価が高いのに給料は上がらない。行事が多い。
	女性	仕事をしても賃金が安いと思う。生活が大変です。
	女性	3番目、4番目の出産後4ヵ月で上の子たちが保育所を退所しなければならなくなった。せめて下の子が1歳までは上の子は退所しないでいいようにしてほしい。上の子を退所させないために生後5.6ヵ月で子どもを預けて働くお母さんが増えています。子どものためにも母親の体調のためにもどうかしてほしい。奄美市にこの件をメールで問い合わせましたが返答は無い。相談にも行きましたが、改善されません。
	女性	お店が遠い。物価が高い。病院(小児科)が少ない。
	女性	壊さなくていい自然が壊されていること(かとのビーチ)
40 歳代	女性	お金儲けを目的として住み着くIターン者、マナーの悪い観光客
	女性	所得が向上するようにしてほしい。台風の被害があると不幸を感じる。
	女性	必要な時に必要な物が手に入らない
	女性	本屋さん等の品揃えが不十分で、欲しい物がすぐ手に入らないこと
	女性	給料が安く、物価や家賃が高いこと。一人暮らしで奄美で生活するなら副業しないと厳しいです。
	女性	ポイ捨ての多さ
	女性	台風などで移動に困った
	女性	Iターン者が増えたのは有難いことですが、交通マナーが悪いこと。例えば方向指示器を出さずに急に右折や左折をすること等。
50 歳代	女性	時間に追われてあまり自分の時間が取れない
	女性	コロナ禍にあり、色々制限があること。しかし、集落行事(奄美市や笠利町)については例年多かったが昨年からコロナの影響で少なくなった。いつも秋は行事参加への負担を感じていた。来年からまた通常に戻るのかと思うと正直負担だと思う。
	女性	行政のコロナ対策補助が不満
	男性	観光客のマナーの悪さ
	男性	モラルが低下していると感じた時
	男性	離島ということで物価が高い。台風等で船が欠航したら食料品、生鮮食品が届かない。
	男性	子どもの遠征費。補助金が少ない。
	女性	奄美市名瀬から他の町へ行く際、夜道が暗すぎる。街灯が無いと歩いている人が分からない。田舎こそ街灯をつけて欲しい。
	女性	子育て、高齢の親のこと、就職、医療など何においても選択肢が少なすぎる。交通の便が良くない。
	女性	年を重ねていく人が幸せそうに見えないこと。子ども達の環境。
	女性	緊急時の移動方法が限られる
	男性	買い物しやすさ
	女性	時々、犬の糞やゴミが落ちている時はがっかりします。
	女性	経済的に少し苦しいこと
	女性	鹿児島や福岡等にいる妹や親戚や友達に会いたい時に、陸続きではないのですぐに会えないこと
-	仕事先での正社員とパートの待遇格差。不満だらけです。	
男性	島の事を理解していないIターン者	
60 歳代	女性	気候変動が怖い。世界中で考えなければならないと思う。
	女性	人間は皆不完全なので、自分や他人の失敗や落胆を経験する時。

【日々の生活で「不幸」または「不満」に感じる事（居住地：笠利 その2）】

年代	性別	「不幸」または「不満」に感じる事
60 歳代	男性	体が言うことをきかないこと
	女性	人との繋がりへの煩わしさ
	女性	物価が本土と比べるととても高く、年金生活者には厳しい。
	女性	老後が一番の心配。少子化に伴い福祉関係は人材不足になっているのではないかとと思う。
	女性	コロナ禍で子どもや孫に気軽に会いに行けない
	-	しょうがないと分かってはいるが物価が高い。(低賃金なのに)
	男性	生活が不便。(買い物、医療、アミューズメント)
	女性	相手のことはあまり知らないのにどうして次から次へと広めていくのでしょうか？悲しすぎます、もっと思いやりをもって接してくれてもいいのではないのでしょうか。
	男性	Iターン者が多数いるが何を求めてきているのか疑問に思う。人が優しい、仕事も楽だ、バイトしながら遊んで暮らせると思っている人が多数いる。上辺だけの考え方で来島している。だから仕事も楽を求めているので、一緒に仕事をしていても中途半端で不満がつくる。
	男性	離島故に台風時の生鮮食品が無くなる時
女性	噂話が多い。医療機関がもっと充実して欲しい。健康づくりができる施設があると良い。	
70 歳代	女性	路線バスが不便
	男性	今の行政(国)の在り方
	女性	近くに医療機関が少なく、買い物にも不便
	男性	体力の衰えが急速になっている
	女性	若者、女性が楽しめるものが少なすぎる。だから若い人が島から出たら帰って来ない。大学が必要。(島外の若者を呼ぶため)
	-	交通機関が充実していない
	男性	貧富の差が激しいこと
	女性	奄美市と合併して笠利町は寂れた。名瀬の方には公共施設等色々出来ているが、笠利町は合併以前と変わらない状態である。何のために合併したのか分からない。龍郷町等と比べても発展が無く、町の中心にある商店街も昔の様な賑わいは無く面影もない。合併の時に町民の意見を聞いて住民投票をして欲しかったという人がたくさんいます。
	女性	近くに親戚がいなくて寂しいです。身体がいうこときかないので不満です。
	女性	近所付き合いが苦痛
男性	台風等で食料品がなくなる事	
女性	福祉や医療、介護が必要な高齢者が多いこと	
80 歳以上	女性	高齢者の入院費が1割負担となっているが少し高い気がする。
	男性	台風時の食料不足
	女性	他人の目が気になる。交際費がかかりすぎる。決まりを守らない人が多い。
	男性	町内の交通機関がない
	女性	車社会ですので、奄美で国民年金だけの生活をしている人は町にも行けないし不憫を感じます。
-	不幸、不満は仕方ないでしょう。	

【日々の生活で「不幸」または「不満」に感じる事（居住地：不明）】

年代	性別	「不幸」または「不満」に感じる事
10 歳代	男性	遊ぶ場所が少ない
60 歳代	女性	電波が悪い。トンネルの電灯が暗い。瀬戸内、奄美間の道路沿いにトイレが無いので夜間は通行出来ない。
70 歳代	-	子や孫が島内にいないので、今は健康だけど病気になった時にどうしたらいいのか心配です。
80 歳以上	男性	不満はもう少し年金が欲しい、不幸とは思わない。
-	-	子どもが遊べる施設が無い。パチンコ店は要らないのでスケボーパークが欲しい。物価が高い。船が止まると不便。マクドナルドが欲しい。
-	-	生活保護者が多い

## ② 「不幸」や「不満」に感じることに関するテキストマイニングによる分析結果

日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることについて、今回調査（令和3年度）では、「少ない」や「物価」、「離島」、「医療機関」等の単語の出現回数が多くなっており、過去の調査結果をみてもほぼ同様の単語の出現回数が多くなっている。なお、今回調査では、新たに「コロナ」の単語も多く出現している。

また、共起回数で見ると、「物価 高い」が最も多く、次いで「家賃 高い」、「場所 少ない」、「止まる 船」、「台風 船」、「島 思う」、「交通 悪い」等の順となっており、「家賃 高い」が過去の調査結果に比べて上位に挙げられている。

さらに、居住地別にみると、名瀬では全体とほぼ同様の傾向がみられる一方で、住用では、「世界自然遺産」、「コロナ禍」、「動物病院」、「疑り深い」等、笠利では、「iターン」、「コロナ禍」、「広まりやすい」等の特徴的な単語がそれぞれ挙げられている。

### 【日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることのワードクラウド（共起回数 上位）】

#### ○令和3年度

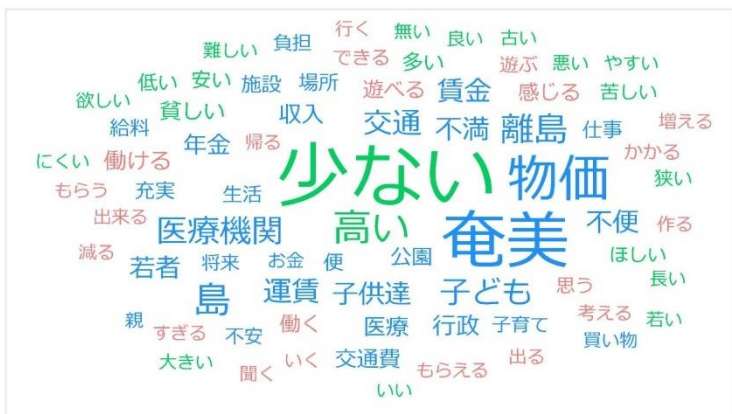


	単語1	単語2	共起回数
1位	物価	高い	24
2位	家賃	高い	14
3位	場所	少ない	13
4位	止まる	船	11
5位	台風	船	9
	島	思う	9
	交通	悪い	9



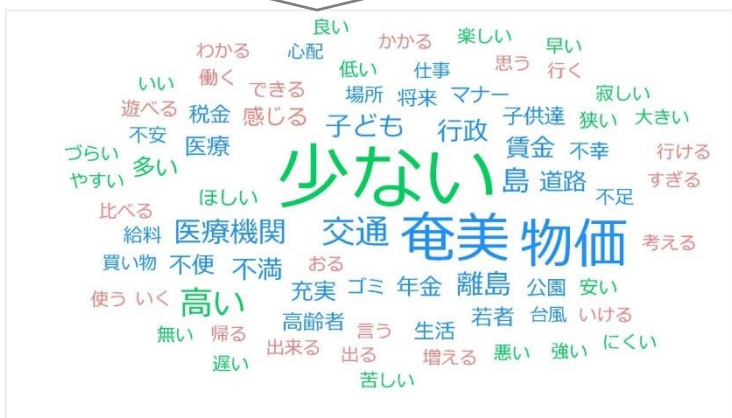
<参考：日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることのワードクラウド（経年比較）>

○平成 28 年度



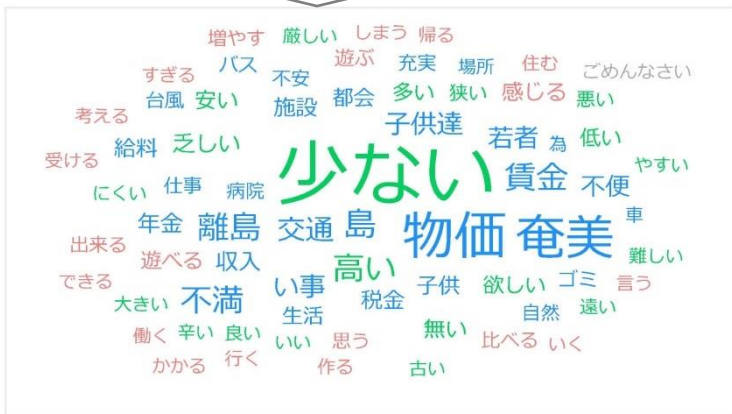
	単語1	単語2	共起回数
1位	物価	高い	34
2位	場所	少ない	18
3位	仕事	少ない	17
4位	少ない	若者	13
5位	いい	思う	10

○平成 29 年度



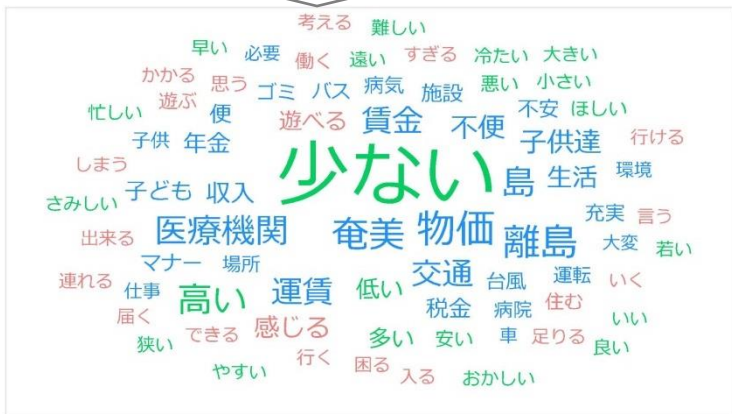
	単語1	単語2	共起回数
1位	物価	高い	37
2位	場所	少ない	12
3位	子ども	少ない	12
4位	すぎる	多い	10
5位	充実	医療機関	8
	不便	交通	8
	仕事	少ない	8
6位	不満	感じる	8
	税金	高い	7
	できる	生活	7
7位	不幸	不満	7

○平成 30 年度



	単語1	単語2	共起回数
1位	物価	高い	21
2位	不満	感じる	9
3位	安い	賃金	9
4位	安い	給料	8
5位	子供	遊ぶ	8
	不便	交通	7
	仕事	若者	7
6位	収入	少ない	7
	仕事	無い	7
	増やす	欲しい	6
7位	家賃	高い	6
	税金	高い	6
	仕事	島	6

○令和元年度



	単語1	単語2	共起回数
1位	物価	高い	15
2位	交通	便	9
3位	島	思う	9
	交通	悪い	8
	便	悪い	8
4位	航空	高い	8
	運賃	高い	8
	仕事	少ない	8
5位	不安	感じる	8
	税金	高い	7
	すぎる	多い	7
6位	多い	感じる	7
	場所	遊ぶ	7
	航空	運賃	7
7位	少ない	病院	7



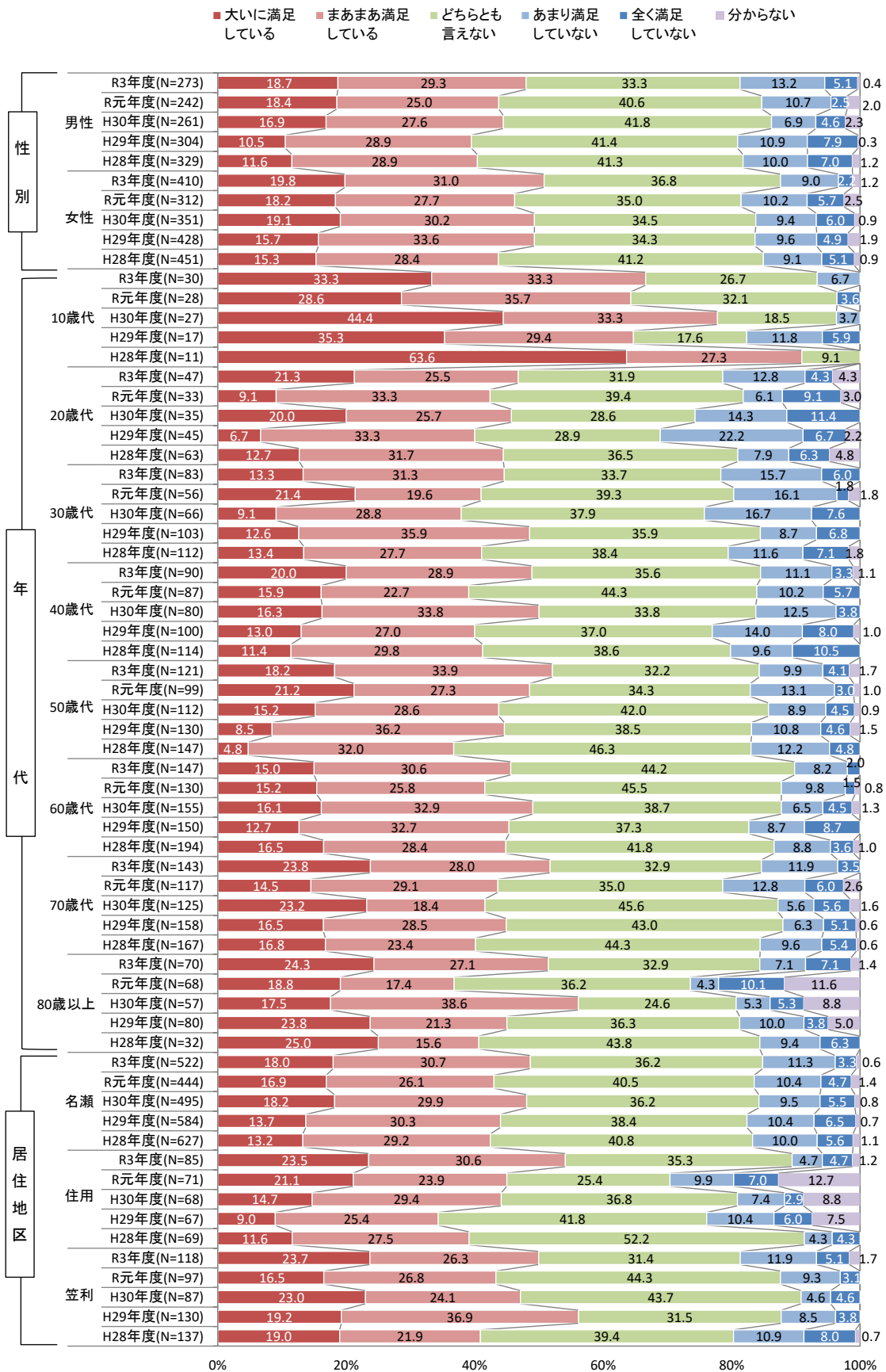




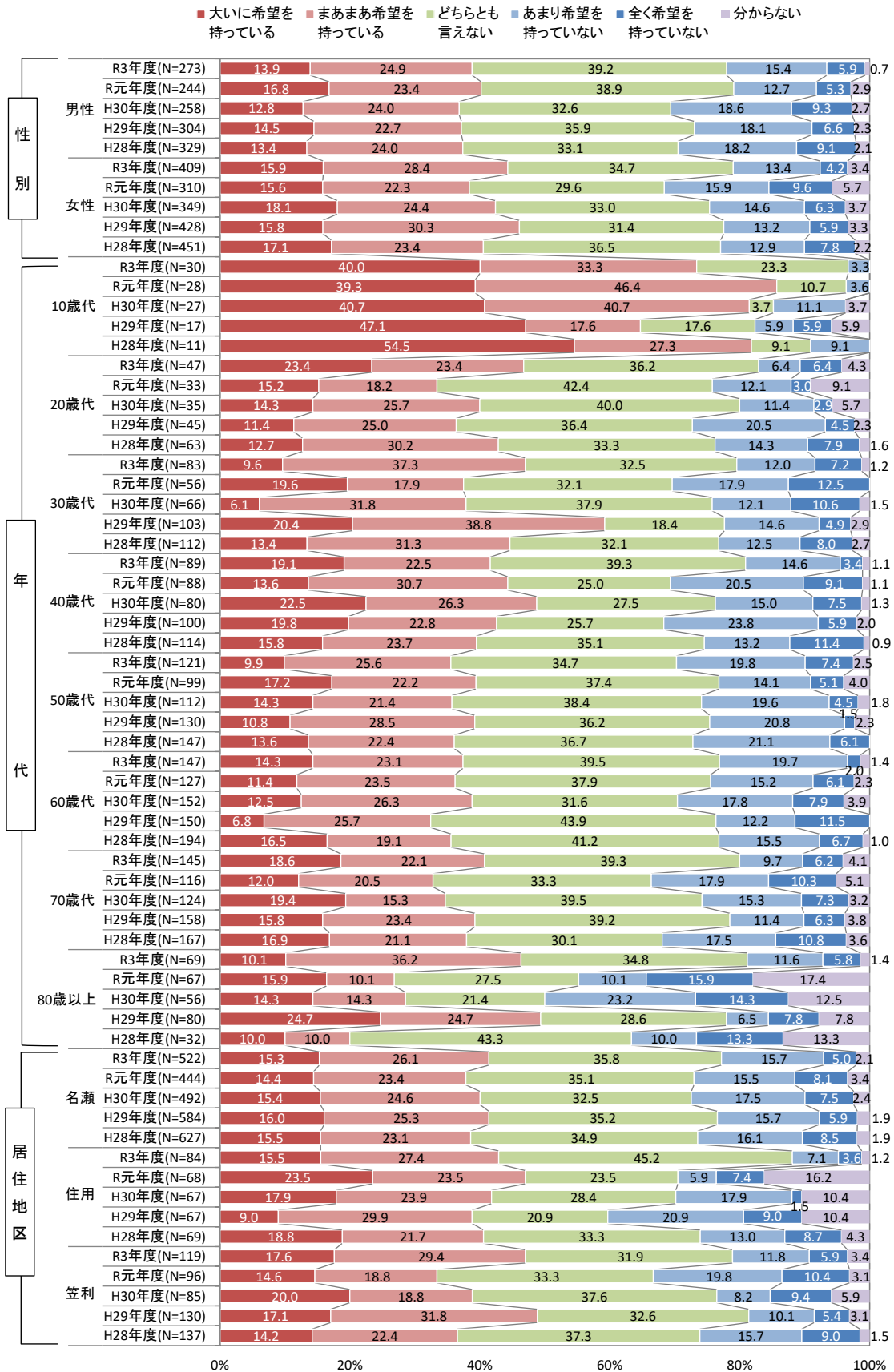
# 参考資料

## 1. 属性別の経年比較

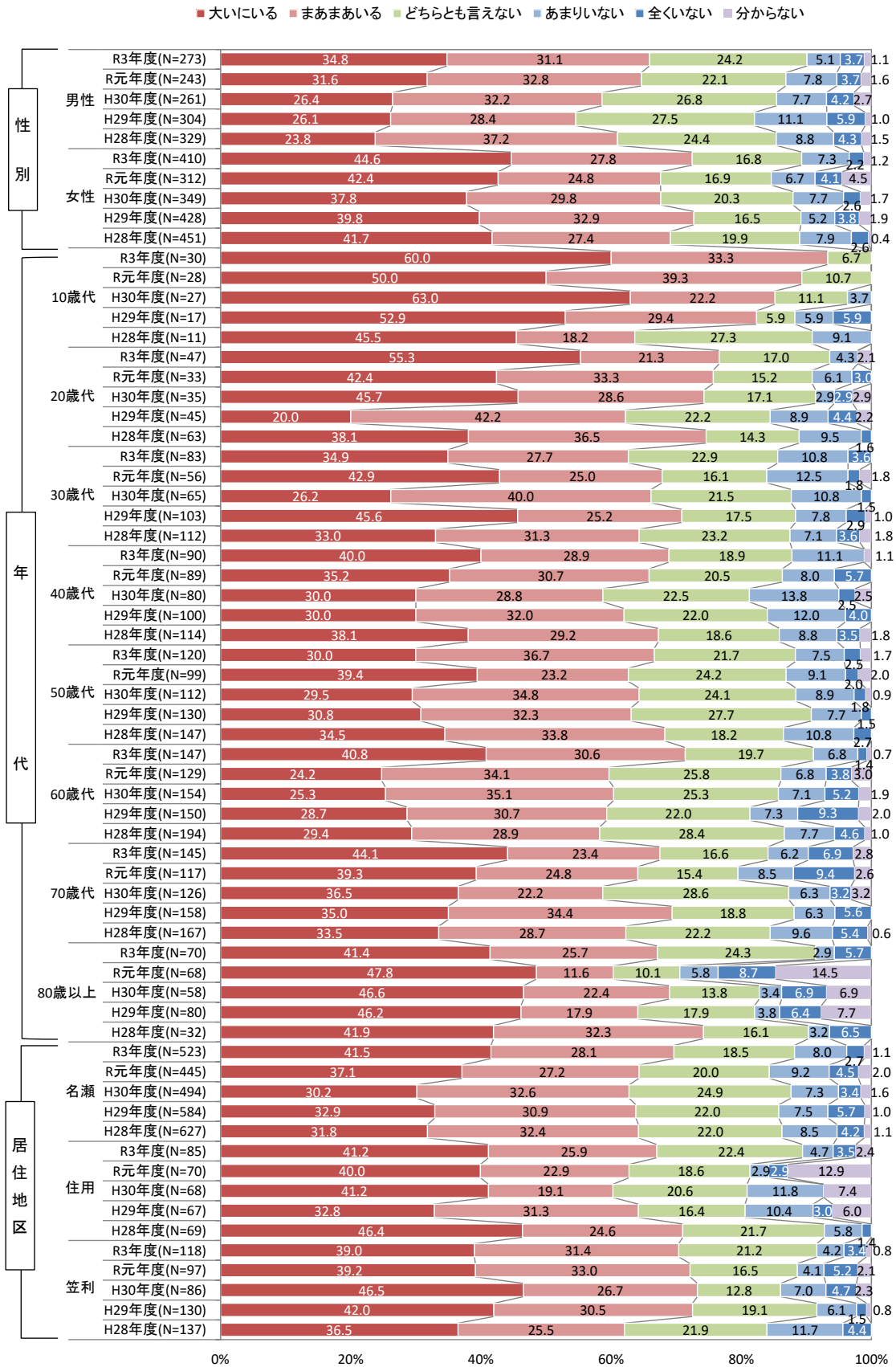
### ① 生活の満足度（あなたは日常生活に対して満足していますか？）



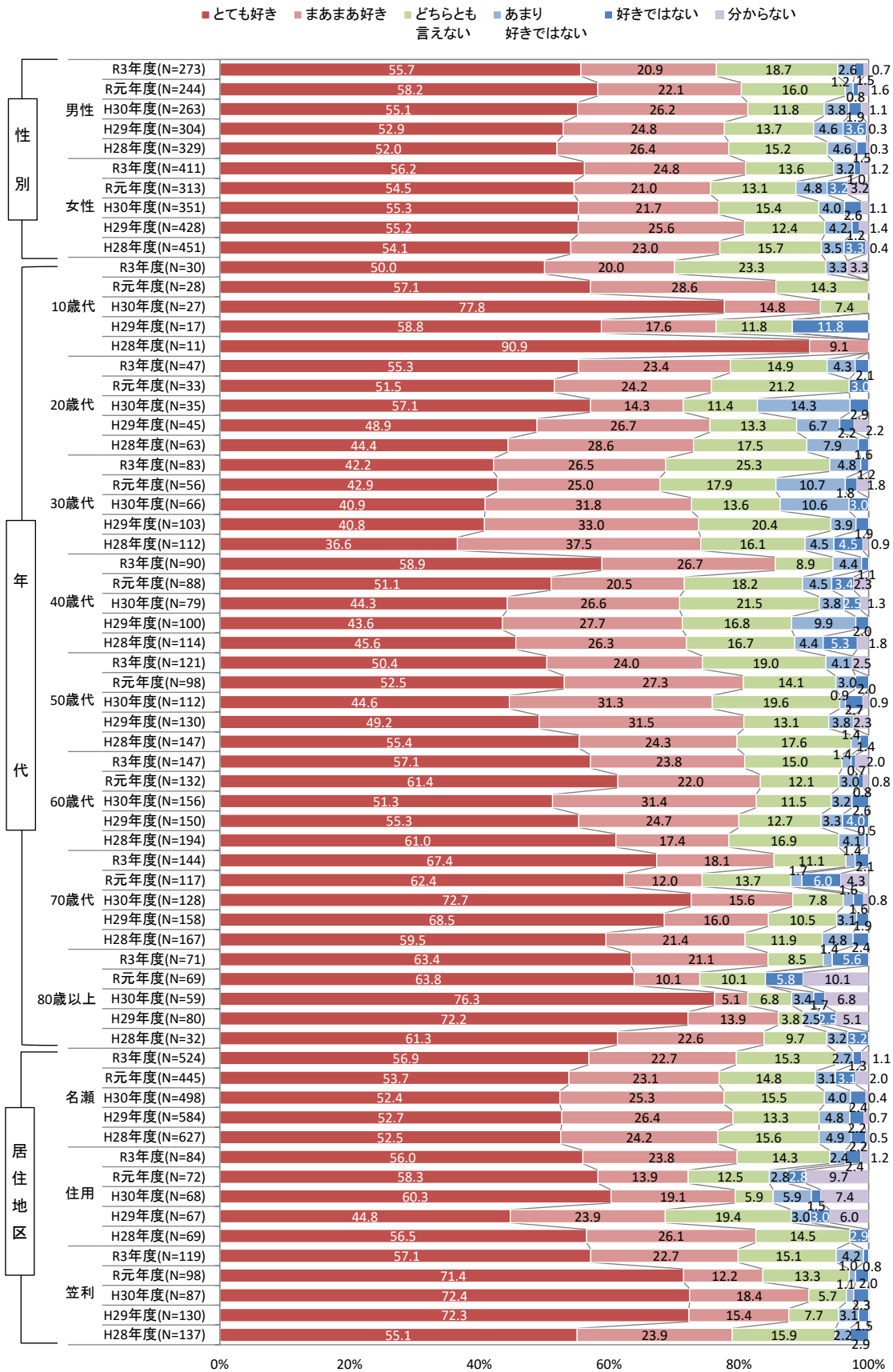
## ② 将来への希望度（あなたは将来に希望を持っていますか？）



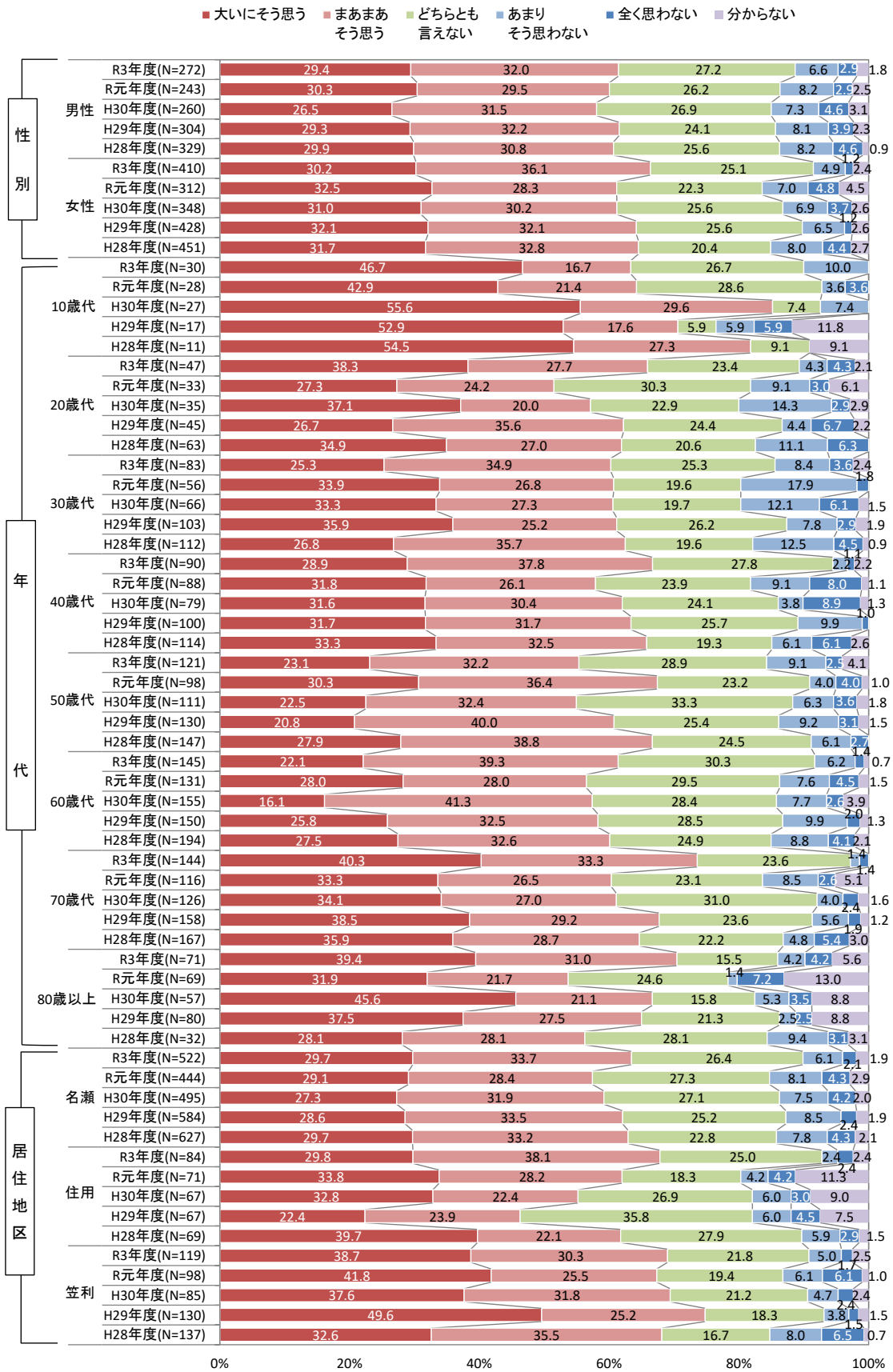
### ③ 結び度（あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？）



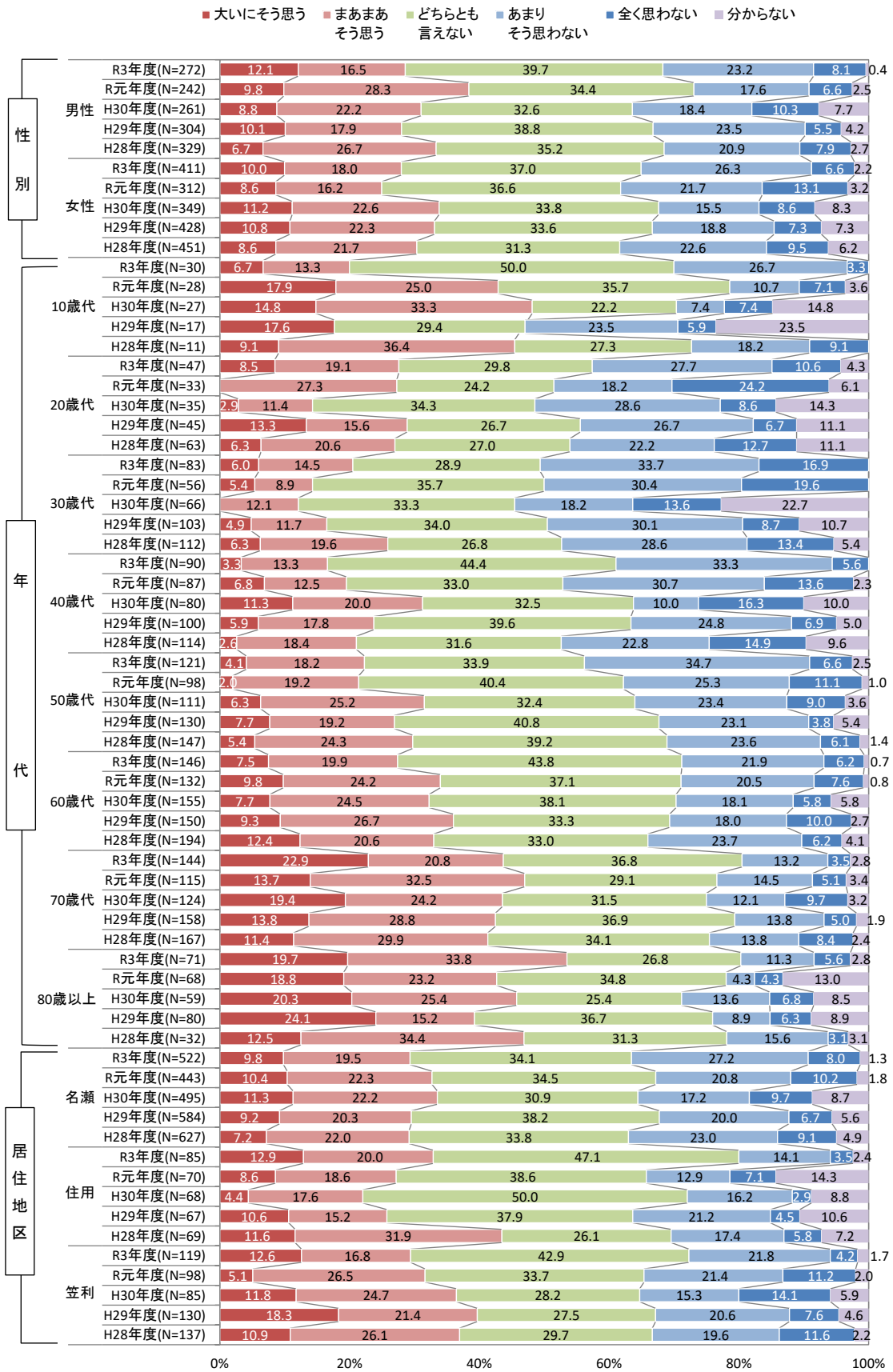
#### ④ 愛着度（あなたは奄美が好きですか？）



⑤ 教育環境の満足度（奄美は、子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？）

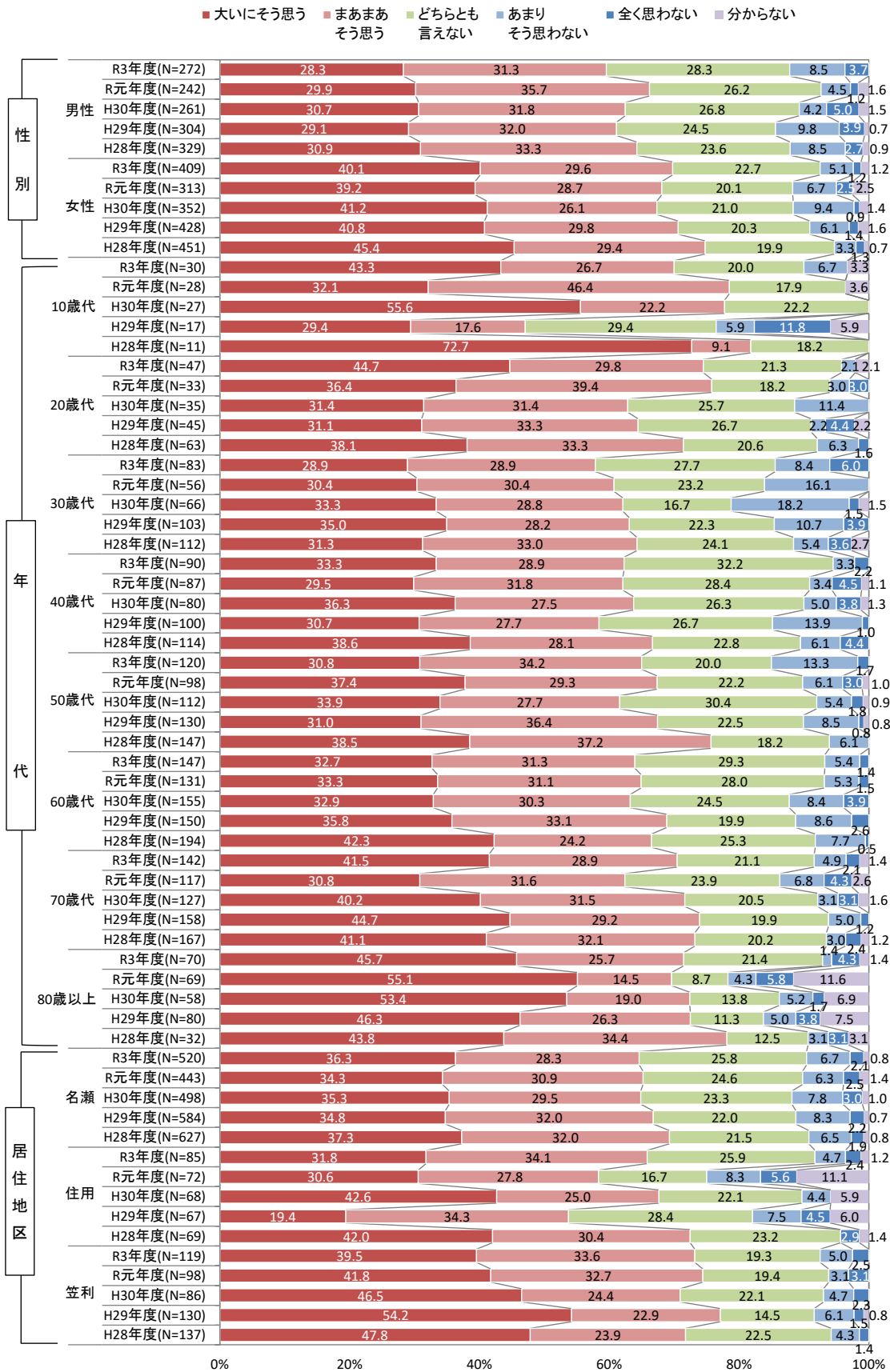


⑥ 医療・福祉環境の満足度（奄美は、医療機関や福祉が充実していると思いますか？）

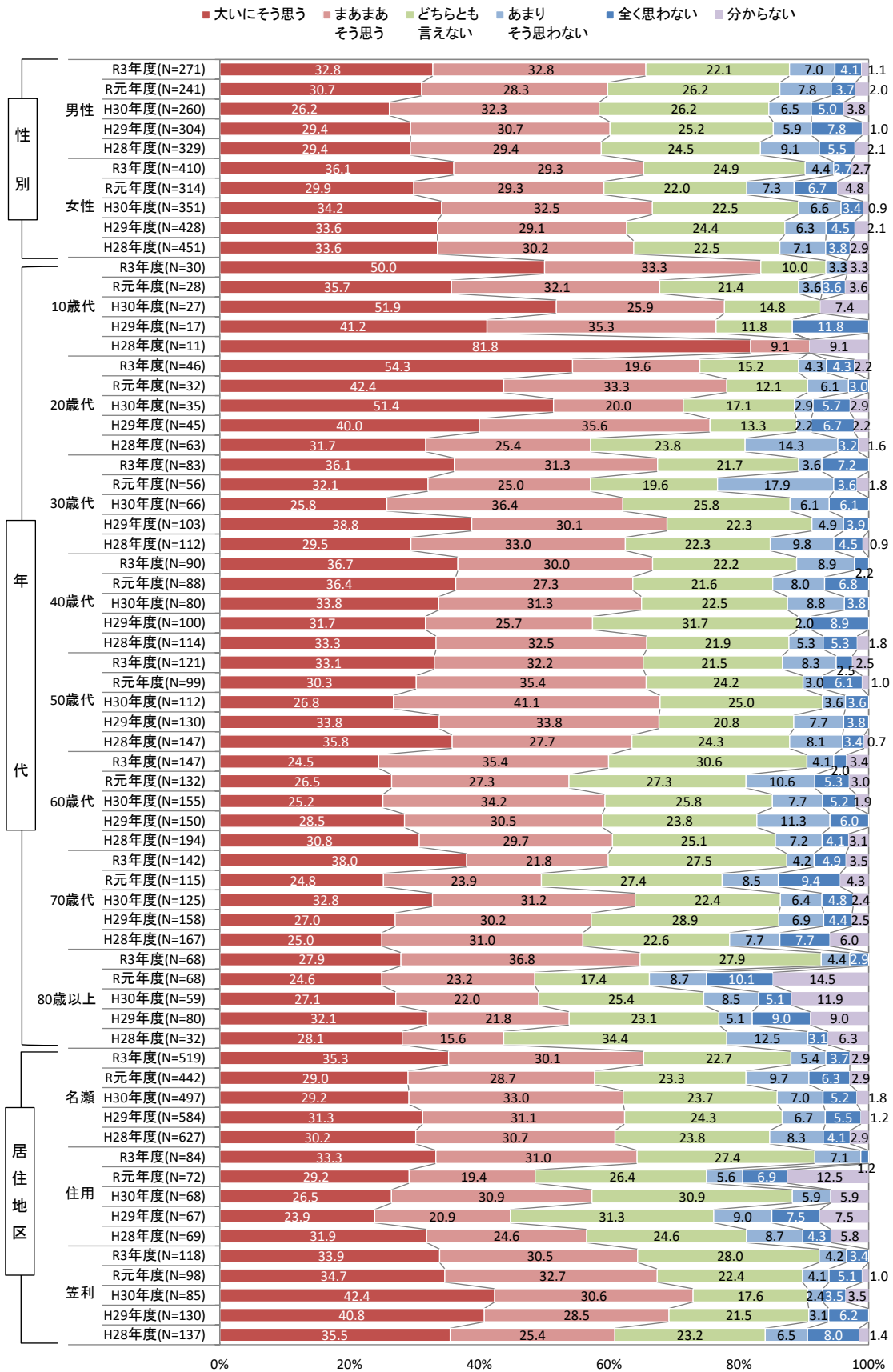




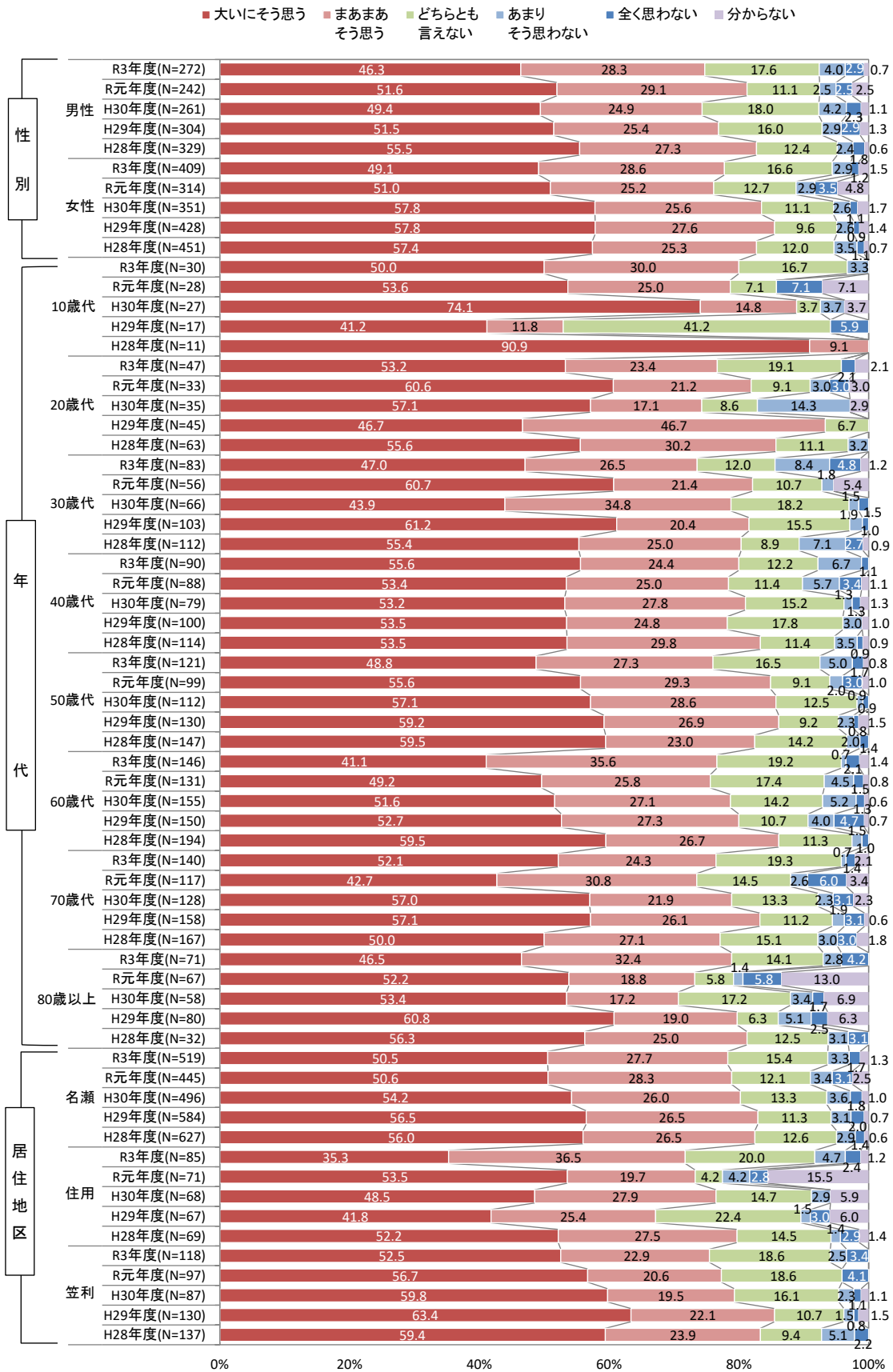
⑦ 地産地消度（あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだなと思いますか？）



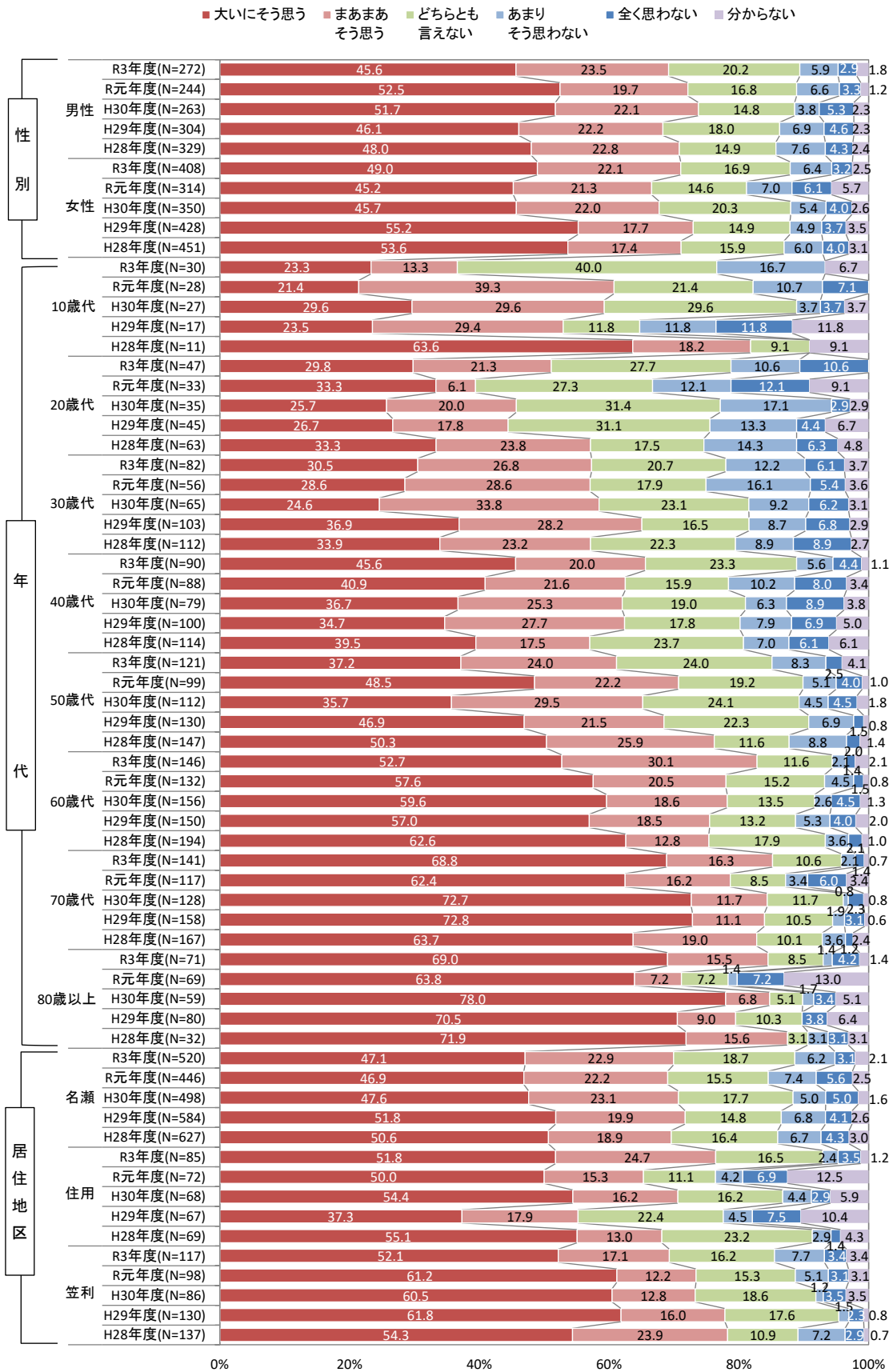
⑧ 招待意向度（あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？）



⑨ おもてなし意向度（あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？）



⑩ 永住希望度（あなたは奄美に今後も住み続けたいですか？）



## 2. アンケート調査票



### 令和3年度奄美幸福度調査アンケート



問1 あなたの実感に最も近い番号に1つ〇をつけて下さい。

項目	まったく 思わない					大いに 思う	分から ない
あなたは日常生活に対して満足していますか？	1	2	3	4	5	0	
あなたは将来に希望を持っていますか？	1	2	3	4	5	0	
あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？	1	2	3	4	5	0	
あなたは奄美が好きですか？	1	2	3	4	5	0	
奄美は、子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思えますか？	1	2	3	4	5	0	
奄美は、医療機関や福祉が充実していると思えますか？	1	2	3	4	5	0	
あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだと思えますか？	1	2	3	4	5	0	
あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思えますか？	1	2	3	4	5	0	
あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？	1	2	3	4	5	0	
あなたは奄美に今後も住み続けたいですか？	1	2	3	4	5	0	

問2 あなたが、日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？

また、日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？

自由にご記入ください。

「幸せ」または「満足」に感じること：
「不幸」または「不満」に感じること：

※あなたご自身のことについておうかがいします。

◎あなたの性別、年齢、居住地区をお答えください（各〇は1つ。）

性別	1. 男性	2. 女性		
年齢	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代
	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳代	8. 80歳以上
居住地区	1. 名瀬	2. 住用		3. 笠利

令和3年度奄美市幸福度調査アンケート

調査結果報告書

令和3年11月

実施主体／奄美市総務部企画調整課

〒894-8555 奄美市名瀬幸町25番8号

TEL 0997-52-1111 FAX 0997-52-1001

調査機関／株式会社九州経済研究所

〒892-0826 鹿児島市泉町3番3号

TEL 099-225-7491 FAX 099-226-5975

<http://www.ker.co.jp>